

縮尺 20 万 分 の 1

土地分類図付属資料

(山 梨 県)

昭和 48 年 3 月

経済企画庁総合開発局

縮尺 20 万分の 1 土地分類図付属資料

目 次

利用者のために

A	土地条件等の概要	
1.	地形区分とその性状等の概要	1
2.	表層地質の分布とその性状および生産力可能性等の概要	5
3.	土壌統群の分布とその性状および生産力可能性等の概要	9
4.	土地利用可能性分級等の概要	13
4-1	土地利用現況の概要	13
4-2	土地利用可能性分級の類地別概要	17
B	統計の部	
1.	土地利用現況	20
1-1	土地利用現況市町村別内訳	20
1-2	D・I・Dおよびね10万人以上の都市の土地	26
2.	自然的土地条件	
2-1	傾斜区分別面積市町村別内訳	27
2-2	標高区分別面積市町村別内訳	29
2-3	地形区分別面積市町村別内訳	32
2-4	表層地質分布面積市町村別内訳	36
2-5	土壌統群分布面積市町村別内訳	42
3.	土地利用可能性分級	
3-1	土地利用可能性分級別面積市町村別内訳	46
3-2	土地利用可能性分級と自然条件との関連	48
3-2-1	土地利用可能性分級と地形区分との関連	48
3-2-2	土地利用可能性分級と傾斜区分との関連	49
3-2-3	土地利用可能性分級と標高区分との関連	49
3-2-4	土地利用可能性分級と土壌生産力可能性との関連	49
3-3	土地利用可能性分級別主要地域の概要	50
3-4	土地利用可能性分級別市町村別内訳	52

利用者のために

I 編集方針

この付属資料は、縮尺20万分の1土地分類図についての概要説明と、面積統計とに分けられるが、面積統計については、原則としてそれぞれの縮尺20万分の1土地分類図の統計項目に対応した図幅について面積を測定し製表作成したものである。

たとえば、2-2表「傾斜区分別面積市町村別内訳」は、「傾斜区分図」(オーバー・レイ)を市町村の行政区画単位に面積測定して作成したものであり、3-3-1表「土地利用可能性分級と地形区分との関連」は「土地利用可能性分級図」および「地形分類図」を用い、前者においては、土地利用可能性分級である類地のパターンを、後者においては地形区分のパターンをそれぞれ重ねあわせて面積を測定し、両者の面積的関連を把握して作成したものである。

ただし、1-1表「土地利用現況別市町村別内訳」および1-2表「D.I.D. おおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳」については山梨県における各種統計資料等を調整して作成したものである。

なお縮尺20万分の1の土地分類図の各図幅と、附属資料統計表との関連を示すと次のとおりである。

統計表作成のために使用した土地分類図等の一覧

統計地の名称		土地分類図等の名称										
		1 地形分類図	2 起伏量・谷密度図	3 傾斜区分図	4 表層地質(平面的分類図)図	5 表層地質(垂直的分類図)図	6 土壌図	7 土壌生産力可能区分図	8 土図(土地利用可能性分級)	9 土地利用可能性図	10 標高区分図	11 都道府県統計資料等
1-1	土地利用現況別市町村別内訳											○
1-2	D.I.D. おおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳											○
2-1	傾斜区分別面積市町村別内訳			○								
2-2	標高別面積市町村別内訳									○		
2-3	地形区分別面積市町村別内訳	○										
2-4	表層地質分布面積市町村別内訳				○							
2-5	土壌統群分布面積市町村別内訳						○					
3-1	土地利用可能性分級別面積市町村別内訳								○			

土地分類図等の名称 統計地の名称		1 地形分類図	2 起伏量・谷密度図	3 傾斜区分図	4 表層(平面的分布)地質図	5 表層(垂直的区分)地質図	6 土壌	7 等級区 土壤生産力可能性図	8 図(土地利用現況)土地利用可能性分級図	9 土地利用可能性図	10 標高区分図	11 都道府県統計資料等
3-2	土地利用可能性分級と自然条件との関連								○	○		
3-2-1	土地利用可能性分級と地形区分との関連	○								○		
3-2-2	土地利用可能性分級と傾斜区分との関連			○						○		
3-2-3	土地利用可能性分級と標高区分との関連									○	○	
3-2-4	土地利用可能性分級と土壤生産力可能性との関連							○		○		
3-3	土地利用可能性分級別主要地域の概要	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3-4	土地利用可能性分級別市町村別内訳										○	○

II 利用上の留意事項

土地分類図の各図から測定された項目別パターンの面積値は、各図の図示表現の技術的な制約、すなわち縮尺20万分の1の土地分類図の場合には最小図示単位として1Km²(図上では5mm四方)を原則とし、特殊な場合においても最小径400m(図上で2mm)を限度としたため、実在の面積とは一致しない場合もあると考えられる。とくに、パターンの小さい性格をもつ分類項目にあっては、やや少な目に数値が出る傾向がある。

したがって、この統計表を各種資料として使用する場合には、項目ごとの絶対値を使用するのではなく、概括的把握ないし、項目の構成比率等を用いるようにされたい。

III 表中の記号について

「0」は数値が掲載単位に満たないもの

「-」は該当事実のないもの

「」(空白)は編集時において資料がなく不明のもの

IV 調査機関一覧

総括調整	山梨県農務部 農地開拓課	甲府市丸の内一丁目6番1号	TEL 0552(37)1111	〒400
地形分類	山梨大学教育 学部	甲府市武田4丁目4の37	〃 0552(33)1111	400
表層地質	山梨大学教育 学部	〃	〃 0552(33)1111	400
土壌（林地）	山梨県林業試 験場	甲府市岩窪町688	〃 0552(53)5811	400
土壌（農地）	山梨県農業技 術研究所	甲府市下河原町699	〃 0552(22)1588	400
土地利用現況	山梨県農務部 農地開拓課 山梨県林業試 験場 山梨県農業技 術研究所			
土地利用可能性分級	山梨大学教育 学部 山梨県林業試 験場 山梨県農業技 術研究所 山梨県農務部 農地開拓課			

A.土地条件等の概要

1. 地形区分とその性状等の概要

1.1 まえがき

山梨県の地形は、中央に甲府盆地があり、その周辺を赤石・秩父・御坂などをはじめとする山地が取り囲み、その北西部と南東部には、八ヶ岳・富士山などの火山地がある。これらの山地はさらに、富士川・多摩川・桂川およびその支流によって、細分され、同時に盆地の周辺に多くの台地・段丘地や扇状地群を形成し、山地から低地へと移行している。従って、地形区を地域を中心に設定することは比較的単純であるが、異質な地形を同一地形区内に包含しやすい。逆に地形を中心に考えた場合は、やや複雑になるが、応用面をも考慮して、次の基準により地形区を区分した。

1.2 地形区の区分

- 1) 最小の地形区は原則として、地形分類基準の第2次分類とする。
- 2) 1に従い区分を行うが、その際に地域的まとまり又は地形形成営力をも考慮して細分する。ただし、小面積の地形に関しては、2)の限りでない。

具体的な地形区の設定に当っては、山地・火山地については、地域的な広がりにより、中分類を行い、起伏量、連続性により小区分された。さらに(火)山麓地については、地域的に他の地形と入り組むので、これらの地形をも含むものとして、付加的分類を行った。また、丘陵地以下の地形については、地域的には甲府盆地周辺に集中するので、中分類をはぶき直接に小分類を行った。従って、地形分類図に示す第1表地形地域区分表の小分類がここに云う地形区であり、地形区の記号は3桁の記号で示される。時計数字は地形分類を示し、大文字のアルファベットは地域の区分を示し、算用数字は地域内の細分を意味する。

1.3 地形区の概要

赤石山地北部 いわゆる鳳凰三山、白根三山などを中心とした3000m級の山々を含む山地で、起伏量は1000m以上の部分が広い。山陵と山腹の一部に緩斜面が発達する例がある。谷密度は少い部分が広いが、谷壁は一般に急斜し 40° 以上になる部分もある。

赤石山地南部 転付峠以南、再畑川以北の赤石山地の分岐した部分を意味する。前者と比較すると山頂はやや低いが起伏量は同様の値を示す。谷密度が北部よりやや小さく、崩壊は多い。

巨摩山地北部 赤石山地との境を糸魚川-静岡線に取った。甲府盆地に対して赤石山地の前山的な位置にあるが、起伏量の大きい部分と、その東又は北側の起伏量の小さい部分から成る。浸食はやや進行し崩壊地が多い。

巨摩山地南部 北部との境を御勅使川~夜叉神峠に取った。山地としては北部よりやや低いものが多い。海拔1000m前後に平坦面が認められ、この高度以下では谷密度が高く、崩壊が発生し、一部では地すべりが認められる。

金峰山地 金峰山や国師岳などの花崗岩類より成る山頂部と、その基部のやや起伏量の小さな山地からなる地域を意味する、この下方の山地の谷密度は20以上になる部分が広い。また塩川中流から上流にかけの一部では、崩壊が発生しやすい。

秩父山地 甲武信岳以東のいわゆる秩父山地の中心部に相当する。金峰山地の山よりやや山頂高度は低いが、起伏量は全般的には、大きく、丹波川上流では比較的平頂な山が残る。谷密度は苗吹川源流で少く、丹波川左岸ではやや多い。

丹波山地 丹波川と桂川-笹子川によりその北と南を境される県東の山地。秩父山地よりやや低く、全般的には東に高度を減ずる。西側の主陵線を形成する山地は花崗岩類よりなり風化層が厚い。この山地の一部である扇山の南~南東山麓には比較的広い山麓緩斜面と高位の段丘面とが入り組む。この部分

を扇山山麓地として細分した。谷密度は極地的には30以上の部分が見られるが、20前後の部分が多い。

秋山山地 桂川と秋山川に挟まれる小～中起伏の山地、北斜面の谷が南斜面の谷より深い。部分的に富士のスコリアに覆れる。

道志山地 秋山川と道志川に挟まれた山地、西は桂川で境される。中起伏山地が中心で大起伏山地もある。西の桂川流域側には山麓面がやや広く発達する。この部分うち、戸沢川と大平川の中間の丘陵状の山麓地を中心として、道志西麓山麓地を細分した。全体的に谷密度は大きく20以上になる部分がある。

北部丹沢山地 丹沢山地の北西部に相当し、中～大起伏の山地よりなる。各壁の傾斜は大きく一部には崩壊地が見られる、北麓にはやや山麓面が広く、局地的な河岸段丘を見る。

御坂山地 甲府盆地と富士山の中間の障壁をなす山地で、主に大起伏山地よりなる。山地は御坂峠以東、三ツ峠山を中心とする山地と、西の黒岳を中心とする山地とに分れ、さらに芦川により西の山地は二分される。この西側の山地は断層が多く、山腹の傾斜は大きく、露岩や崩壊が多い。谷密度は場所により差が大きいが、東半で20以上となる例が多い。八代山地、広義には御坂山地の一部であるが、起伏量が小さく、小谷が発達している。巨麓山地南部とともに、地すべりが多い地域である。

天子山地 下部川以南の富士川左岸の山地を意味し、大起伏山地が主となる。谷が深く山腹の傾斜はやや急である。

富士川山地 早川～再畑川以南の富士川右岸の山地を意味する。地質上はさらにその西部と東部分に区分されるが一つの山地とした。西側は起伏量も大きいが、富士川沿岸では山麓地や小起伏山地が中心となる。谷の発達には富士川近くの山頂高度の低い部分でややよい。

三国山地 富士山の東方から北部丹沢山地に連なる非火山性の山地、面積的にはせまい。

富士火山地 富士山および、その噴出物に覆われた、山麓地を含む。中腹以上をのぞき傾斜はそれ程大きくない。大沢崩れなどの再裂状の浸食谷があるが、融雪期と降雨期をのぞき、忍野付近以外に表流水は得られない。

八ヶ岳火山地 八ヶ岳の主峰赤岳の南東側に広がる山腹、およびその下方の火山の再堆積物や泥流からなる火山麓地とから成る。末端は、釜無川、塩川などにより浸食崖が作られ、内部も一部では浸食谷により分断され、火山麓面上では、水利、交通の便共にやや悪い。

甲府北部火山地 茅ヶ岳・黒富士などの山頂部に火山らしい姿を残し、火山麓に再堆積物からなる斜面を残す部分と、水ヶ森などのようにその姿をとどめない古い火山とその山麓地よりなる。西側には広い火山山麓面を残すが、火山地としては全般的には谷の発達がよい。

丘陵地

竜岡丘陵 釜無川右岸にある小丘陵地で、一部は八ヶ岳の火砕流よりなる。面積的にはせまい。

市の瀬台 巨摩山地の山麓にある洪積台地である。約430mの高度を有し、滝沢川、市ノ瀬川などにより開析が行なわれている。

會根丘陵 御坂山地の北麓に位置する海拔340～390mの丘陵地で、御坂山地に対して弱い逆傾斜をなす。浅利川、七覚川、滝戸川などによる開析が進み、丘陵上では水利、交通とも便が悪い。

台地・段丘地

駒ヶ岳北麓段丘地 駒ヶ岳の北～東麓の尾白川、大武川などの流域にみられる段丘状の地形を示す地域、高又は中位面はロームがあり、下位面は砂礫ないし砂層よりなる。

笛吹川右岸段丘地 主に笛吹川およびその支流のうち右岸の河川によったと思われる段丘ないし段丘状の地形、部分的には高位のものも認められる。

重川周辺段丘地 甲府盆地東方の勝沼から塩山北方にかけての隆起扇状地状の地形の地域、円礫からなる部分とロームに覆われた部分がある。現在の河川によりやや分断されている。

御坂北麓段丘地 日川以南、榛ヶ峰までの隆起扇状地状の地形、構成物は場所により異り、東部では円ないし亜角礫、西部では崖錐状の堆積物を含む。その下方の扇状地に対して5～10mの比高をもつ

急斜面で接している。

扇状地

巨摩山麓北部合流扇状地 高川、甘利沢川などの巨摩山地北部の河川により作られた合流扇状地であり、末端は釜無川により浸食されている。やや急斜し現河床より高度があり水の便は悪い。

巨摩山麓南部合流扇状地 滝沢川、高室川、深沢川、坪川、利根川、戸川などによって作られた合流扇状地。山地との中間に市ノ瀬台が位置するため、扇状地の高度もやや低く、堆積物もやや小粒のものが多。

御勅使川扇状地 勅使川による新しい扇状地であり、扇頂から扇中央にかけては乏水性が著しいが、扇端とくに南部は湧水もみられ低湿となっている。

甲府北部扇状地 荒川、相川などの扇状地を中心とした他の小河川による扇状地を含む地域、相川扇状地の一部をのぞいては扇状地面の傾斜もゆるく水の便も良い。

甲府東部合流扇状地 甲府東部の笛吹川、重川、日川、御手洗川などの扇状地を総称した。合流扇状地的な色彩をもち、傾斜は小さい。やや粗大な丹礫からなる部分とより小さいものから成る部分がある。水の便は概して良い。

芦川扇状地 芦川の笛吹川合流点に作った小扇状地、甲府盆地の低地部と曾根丘陵との中間の高度をもつ。

低地

甲府盆地 甲府盆地底部の三角州性の堆積物よりなる地域を示す、湧水がある地域もあり低湿で土地条件はおとる。

釜無川低地 主に釜無川と塩川にそう沖積地のち、やや粗大な堆積物から成る地域。

なお、これらを地域を中心に区分すれば第1表の通りとなる。

吉 村 稔 (山梨大学)

第1表 地形地域の区分と地形区

地形地域		地形区	細分類
西部山地	赤石山地	赤石山地北部 赤石山地南部	駒ヶ岳山麓段丘地
	巨摩山地	巨摩山地北部 巨摩山地南部	
北部山地		金峰山地 秩父山地	扇山山麓地
東部山地		丹波山地 秋山山地 道志山地	
南部山地	御坂山地	北部丹沢山地 三国山地 御坂山地 八代山地	道志西麓山麓地
	天子山地	天子山地 富士川山地 富士火山地	
富士火山地			
八ヶ岳火山地		八ヶ岳火山地	八ヶ岳火山麓地
甲府北部火山地		甲府北部火山地	茅ヶ岳火山麓地 柵山火山麓地
甲府盆地	甲府盆地東部	笛吹川右岸段丘地 重川周辺段丘地 甲府東部合流扇状地	巨摩山麓北部合流扇状地 " 南部 " 御勅使川扇状地
	甲府盆地南部	會根丘陵 御坂北麓段丘地 芦川扇状地	
	甲府盆地西部	竜岡丘陵 市ノ瀬台 巨摩山麓合流扇状地	
	甲府盆地北部 甲府盆地中央部	釜無川低地 甲府盆地北部扇状地 甲府盆地中央低地	

2. 表層地質の分布とその性状等の概要

2.1 総 説

山梨県を地形的、地質的に概観すると、古期岩層からなる関東、赤石両大褶曲山地が北・西の両側にそびえ、これらの前衝として新第三系からなる一段低い御坂、巨摩、天子等の褶曲山地が配列し、県のほぼ中央部には沖・洪積層からなる甲府盆地がいだかれている。また、南東・北西両低地域には、富士山・八ヶ岳等の第四紀の火山が噴出している。

関東、赤石両山地で囲まれた低い山地や盆地の地区はフォッサ・マグナの一部であり、山梨県の大半がこれに包含され、生活舞台はほとんどこの地域にある。

- (古)・中生代、古第三紀の固結堆積物からなる山地
..... A. B
- 新第三紀の海成の火山性岩石・固結堆積物からなる山地
..... C. D. E. F
- 鮮新世～第四紀の火山地および未固結～半固結堆積物からなる平地・山地
..... G. H. I. J

2.2 各 説

土地の活用ならびに保全を考える上で、地形、地盤地質、地下水理等は欠かせない重要な要素であるから、この点に留意すると、県内は次の10地区に細分される。

2.2.1 関東山地南西部(A)

この地区は桂川および笹子川以北、笛吹川以東の高峻な地域を指し、北部は埼玉県に、東部は東京都一部神奈川県にそれぞれ連続する。この地区の岩石はおもに中生界のジュラ～白亜系と古第三系の粘板岩、頁岩、砂岩、および古第三紀以後に進入した花崗岩類等から構成されている。

これらのうち、地層の一般走向は西北西―東南東を示し、傾斜は北へ急斜することが多い。この走向に一致して走るおもな構造線(断層、破碎帯)と岩質の硬軟とによって、山系、水系ともに西北西―東南東系をなす。弱帯の顕著なものは、鶴川に沿って走る鶴川破碎帯であり、破碎帯の幅は100m以上に達し、岩石は広く粘土化を受けている。また、桂川の北岸を走り、新第三系に衝上している藤野木―愛川構造線は最も著しいもので、これに沿っても粘板岩、頁岩は広く破碎化、粘土化を受けている。

一般に、粘板岩、頁岩の分布地域は広い範囲にわたって風化のため地層のクリーブ現象が起っており、降雨時など薄く被覆するロームと混じて小規模な山崩れを頻発させている。

花崗岩類に接するこれらの岩層は幅広く熱変成作用を受け、硬岩のホルンフェルスになっている。上記の岩石の他に、石灰岩、輝緑凝灰岩、チャート、礫岩などの薄層が介在される。

一方、上記の地層を幅3～8Kmで不調和的に南北方向に長く貫ぬく花崗岩類が露出し、独特な風化状況や地形をなしている。ことに柳沢川流域、日川上流は深層風化により風化残積砂土が厚く被覆しており、起伏も少なくなっている。しかし、起伏が大きいところでは弱風化の花崗岩とこれを被覆する真砂土や崖錐砂礫土との境に滑動が起り、地送りや大規模な山崩れが頻発している。この花崗岩類のほぼ中央部には、安山岩の岩脈が南北の走向性をもって数多く貫入しており、一部では地表に溢流したところもある。

2.2.2 赤石山地東部(B)

この地区は早川、春気川以西の急峻な山地と、鳳凰山・駒ヶ岳山塊との地域を指し、西部は静岡県に、北西部は長野県にそれぞれ連続する。この地区は甲府盆地を介して関東山地西部と対称的に配置している。早川、春気川の縦谷と鳳凰山東麓はフォッサ・マグナの西縁を面す有名な糸魚川―静岡構造線である。

この地区の岩石は、おもに中生界・古第三系の粘板岩、頁岩、砂岩、および花崗岩類である。

地層の一般走向は南北、傾斜は概して西に急斜し、層面断層や走向断層等多く、かなり複雑な構造をしている。糸魚川―静岡線に沿った地帯は粘板岩～千枚岩の破碎化が著るしく、大規模な山崩れを起している。また、雨畑川流域の岩石はセン断褶曲をなし、深層風化を受け、岩盤はかなりルーズになっており、山崩れが頻発している。これらの崩落物は粘板岩、砂岩等の角稜ある細片が多い。上記の堆積岩の他に、輝緑凝灰岩、チャート・礫岩等の薄層が介在される。

一方、鳳凰山、駒ヶ岳の花崗岩類は、節理に沿って急崖を形成し、風化残留砂土はあまりのせていない。岩屑、真砂土が東麓に崩落し、さらにこれが武川村一帯に運搬堆積し、良質な米作地帯をなしている。

2.2.3 丹沢山地北西部（C）

この地区は神奈川県丹沢山塊北西の一角をなし、県内では桂川以南の山地を指す。北限は前記の藤野木―愛川線とする。

新第三紀グリーン・タフ変動の産物としての暗緑色の海底火山噴出岩およびこれを貫ぬく花崗岩類が分布し、これらを広く、かつ、厚く被覆する愛鷹山、富士山起源の火山灰砂、ロームがある。また、桂川沿岸には浅海に堆積した礫岩や、桂川河岸段丘礫層なども分布している。

海底火山噴出岩としては、安山岩溶岩流・同質の火山角礫岩・凝灰角礫岩が多く、後2岩は地盤地質的性質としては溶岩流ときほど相異はない。また、玄武岩がこれらに伴っている。

これらの上位（北側）には、淡青灰色の石英安山岩質～流紋岩質の凝灰岩が卓越する。これらの火山性岩石は、いずれも海底に噴出する際あるいは堆積後に変質し、各種の粘土鉱物を生じている。

花崗岩類は岩相変化に富み、石英閃緑岩～閃緑岩～斑糲岩などである。花崗岩地域には、地入りや山崩れが多発している。これは厚い真砂土層や火山灰砂・ロームをのせているためである。

桂川沿岸に露出する礫岩は大きく2種類に区分される。下位（南側）は淘汰・円磨ともに良好で固結度大の円礫岩であり、採石もされている。上位は淘汰・円磨ともに劣り、ルーズな礫岩であり、シルトを多く介在する。前者の円礫岩の下位には、有孔虫化石を多産する泥岩がある。

桂川段丘面は重要な生活空間であるが、表面を厚くロームが被覆し、かつ、プラットフォーム性地形であるため地下水に乏しく、土地利用にあたっては注意すべきである。

2.2.4 御坂山地（D）

この地区は甲府盆地と富士山麓の間にそびえる御坂山脈で、北東部は大月市、南西部は本栖湖の間約30kmの地域を指す。

丹沢山地北西部とほぼ同じく、新第三紀の海成の火山性岩石および堆積岩で構成されるが、特に海底噴出の玄武岩溶岩流と花崗岩類とで特徴づけられる。その他、安山岩・石英安山岩の溶岩や火砕岩、礫岩・泥岩が露出し、これらに石英斑岩～玢岩、斑糲岩～輝緑岩が貫入している。

一般走向はNE―SW性であり、これに並走する断層もかなり多い。グリーン・タフ変動に伴って沈澱した宝鉦山・万福鉦山・本栖鉦山等の黒鉦型鉦床が胚胎され、銅・鉛・亜鉛の鉦石、黄鉄鉦・石膏、金などが産出する。

この地区には、小さい沢などにも人家が多くあり、昭和41年の26号台風の例のごとく、豪雨によってもたらされた甚大な人畜災害が根場・西湖・本郷・鷲宿等に起っている。これは崖錐や小型扇状地などのような一時的堆積物が谷間に厚く堆積しているためである。

2.2.5 巨摩山地（E）

甲府盆地の西方に、南北方向に長くそびえる山地を巨摩山地といい、赤石山地の前山である。東は盆地面、西は早川の溪谷、北は中山、西は早川の横谷部等で境された地区を指す。

この地区は新第三紀の特に中新世の初期に活動した海底噴出の安山岩類および泥岩で特徴づけられる。このうち、前者は概ね山地の東半部（下位）を、後者は西半部（上位）を占めて分布する。

火山性岩石は安山岩溶岩流・同質火山角礫岩・同質凝灰角礫岩・玄武岩であり、変質を受け暗緑色を呈することが多い。盆地に接する地域には石英閃緑岩が露出する。また、泥岩には、南北方向に長く多く

の斑岩～玢岩が貫入している。

地層の走向・傾斜は場所によって変化が著しいが、一般には南側で走向N-S性、北側に行くとNE-SW性に変る。NE-SW性、NW-SE性の断層が多く生じている。西縁は前記の糸魚川-静岡線であり、急角度で西方の中生界～古第三系の粘板岩等がこの新第三系の上に衝上している。

火山性岩石の分布地域には、断層によって形成されたものと思われる平坦面が各所にあるが、このようにところに地じりが発生しており、例えば十谷部落はその例である。

茂倉・ドノコヤその他の黒鉱型鉱床が胚胎されており、銅鉱・亜鉛鉱・石膏などを産出する。

また、糸魚川-静岡線に沿った地帯には西山温泉をはじめ各所に温泉が湧出している。

2.2.6 富士川流域 (F)

富士山の西麓には、南北に長く天子山地がそびえ、富士川を間にはさんでその西方には身延山・篠井山・十枚山等の高嶺が連なるため、富士川沿岸は低地帯をなし、富士川谷といわれる。この地区の南方は、約10kmで駿河湾頭へのぞみ、気候は国中や郡内地方とはやや異なり、温暖・多雨にして、起伏の少ない地形と相まってヒノキ・スギ等の美林が多い。

地質は南部フォッサ・マグナを代表する堆積物で埋められ、特に新第三紀中新世から鮮新世にわたる一連の海成一部陸成の堆積岩(御坂層群・富士川層群)から構成される。岩石は各種の固結堆積物、火山性岩石と、これら貫ぬく花崗岩類・斑岩であり、ことに泥岩と砂岩の有律互層および礫岩が卓越している。各地層の境に沿う多くの断層が斜交して走っているため、一般に地質構造は西方に傾斜した覆互構造をなしている。

下部温泉が溪谷に湧出し、断層に沿って湧出する鉱泉も各所にみられる。

御坂山地の鉱床とほぼ同一層準の火山性岩石中には、第一妙法・湯ノ奥などの黒鉱型鉱床・マンガン鉱床が胚胎されている。

この地域は有数な地じり、山崩れ地帯であり、豪雨による国鉄身延線や国道52号線の不通が、泥岩や砂泥互層地域にしばしば起っている。

2.2.7 甲府盆地北方山地 (G)

この地区は、東を笛吹川に、西を塩川・須玉川によって画され、南は甲府盆地に終り、北は長野県佐久地方に連続する地域を指す。関東山地の主峰金峰山(2595m)をはじめ、著名な高山が連なり、一大分水嶺をなしている。

花崗岩類とこの上に散点的に残存する中生界や古第三系の粘板岩・砂岩・ホルンフェルス等が基盤をなし、これらの断裂に沿って噴出したおもに陸上の火山性岩石が南部を広く被覆し、この地区の特徴となっている。

花崗岩類は花崗岩・花崗閃緑岩・石英閃緑岩であり、また、閃緑岩～斑礫岩の小岩体もみられる。起伏の小さいところは、深層風化が行なわれ、真砂土や角礫混り砂土が10m以上の厚さで被覆している。西部の花崗岩には晶洞が多く、この中に水晶が晶出しており、水晶の産地として古来有名である。また、珪石や輝水鉛鉱等も胚胎されている。西沢溪谷底には花崗岩に貫入した安山岩の岩脈に沿って温泉が湧出し、金峰泉-積翠寺破碎帯に沿っては鉱泉が各所に湧出する。

横尾山・茅ヶ岳・黒富士・水ヶ森等は鮮新～洪積世に陸上に噴出したおもに安山岩質の溶岩流・火砕岩である。これらに伴って石英安山岩の活動もあり、例えば黒富士・石和一帯にみられる。

茅ヶ岳は非対称的に南・西両側のみに裾野を拡げている。このうち、南麓は地下水が豊富であるが、西麓は現在のところ有望な地下水は得られていない。

2.2.8 富士山 (H)

秀嶺と高峰を誇る富士火山は、南部フォッサ・マグナ地帯に起った火山活動の最終で、また、最大の規模で起った内因的地質作用の産物である。

岩石はカンラン石玄武岩溶岩流と同質の火山砂礫であり、山体はこれらの互層で構成されている。しかし、富士吉田市の背後には、火山灰砂やロームを混じえ、やや運積された火山砕屑物様砂礫がみられ

る。

標高 2,000m 以上の山体には、大沢、吉田大沢などの堀れ溝が発達し、崩壊が起っている。北西の山麓には、大室山・長尾山、片蓋山等の寄生丘がみられる。また、山麓一帯には多数の溶岩洞穴が発見されている。

地下水は、山麓部の標高 1,000m 以下の地帯に賦存している。

2.2.9 八ヶ岳 (I)

山梨県内では、八ヶ岳火山列のうち、その南端部が属す。関東、赤石両山地の中生界が接合する部分に、洪積世に大量に噴出し、基盤岩を全く被覆し、広大な火山平原を拡げている。

赤岳、権現岳、編笠山等から流出したおもに安山岩溶岩が標高 1,300m 以上の山体を構成する。これより南の平原は泥流、火砕流として流下した半固結一部固結した火山砕屑物が大量に堆積しており、この上を火山灰砂、ロームが広く被覆している。

釜無川左岸の浸食崖は「七里ヶ岩」と呼ばれ、この地域の一大偉容を誇っている。これは八ヶ岳の山体崩壊期に大量に流下した泥流、火砕流一部溶岩流等から構成され、これは甲府盆地の西半部にも氾濫した。

地下水は標高 1,000m 以下の広い範囲に賦存し、また、湧泉も各所にみられ、深・浅両層地下水を汲み上げておおいに利用されている。

2.2.10 甲府盆地 (J)

甲府盆地は山梨県のほぼ中央部にあって、標高 200~300m、周囲約 100km、ほぼ三角形で、県内唯一の沖積平地である。盆地の北端部に県都甲府市があり、行政、教育、文化等の面で中心となっている。

盆地周縁部には、洪積統の未固結~半固結の砂礫層、火山性礫層からなる台地・丘陵地が配列する。北部では牧丘町の段丘、塩山の水上台、南部では曾根丘陵・大木台、西部では市之瀬台・竜岡丘陵などである。これらは比高 50~100m を保ち、表面はすべてロームで被覆されている。

盆地の西、南両地域には、標式的な扇状地が発達し、これは一大果樹地帯をなしている。未固結で空隙の多い礫層から構成される。

盆地内を埋めている沖積層は粗粒の未固結堆積物が多く、盆地中央部にわずかに砂に富んだ堆積物が、さらに内側には泥に富んだ堆積物がみられる。扇状地性の堆積物であるから、礫、砂、泥等はそれぞれ分離されておらず、混り合っている場合が多い。

盆地の沖・洪積統の下位の深度 100~400m には、鮮新統の半固結~固結した火山砕屑物があり、甲府市、石和町、春日居町一帯ではこれより平均 30°~45°C、1 泉あたり 1,000~2,000ℓ/min (県宮泉) の温泉を湧出させている。

一方、地下水は台地を除くと、比較的豊富であり、盆地のほぼ中央部に東西方向に長い範囲には自噴帯が存在する。

浜野一彦 (山梨大学)

西宮克彦 (山梨大学)

石田高 (山梨大学)

角田謙朗 (山梨大学)

3. 土壤統群の分布とその性状および生産力可能性等の概要

山梨県における山地、台地、低地の土壤は大土壤 10 土壤統群 23 に分類される。

また、土壤統群の分布および、それと地形、地質、生産力との関連について、概略述べれば、つぎのとおりである。

3.1 山地の土壤

山梨県の山地は 5 大別されるが、7 山地にわけられる。

3.1.1 赤石山地

日本の屋根と呼ばれる赤石山地は 3,000m をこす高山が 10 座もあり、平均高度が 2,100m に達している。しかもこの山地をえぐる早川と野呂川の河床がきわめて低いいため、傾斜が急で起伏の大きい雄大な山地となっている。

土壤は標高が高いため、ポドゾルが相当広く分布する。また全般的に急斜地のため、岩石地や岩屑土がおおい。褐色森林土は他の山地にくらべて湿性である。なお、黒色土はほとんどみられない。

3.1.2 関東山地

東部はいわゆる小仏層の地域であり、基岩は粘板岩、頁岩、砂岩が互層をなしている。

一般に尾根はやせていて幅がせまく、山腹も下降斜面がおおいので、崩積土の分布が広い。しかし風化されにくい砂岩のところは凸型の山腹斜面をつくっている。

土壤はほとんどが褐色森林土であるが、埼玉県との県境にポドゾルが分布する。また東京都との県境の尾根、大菩薩峠、小金沢山、扇山および権現山の稜線には黒ボク土が分布している。多摩川、鶴川の流域は急斜地がひろく分布し岩屑土がおおい。また乾性褐色森林土のうち Bc 型土壤の占める割合が、他の地域にくらべておおいことも特徴としてあげられる。

中部の秩父山地から大菩薩嶺にかけた地域は、花崗岩、石英閃緑岩などの深成岩を基岩とする地域である。したがって、土壤は大半が褐色森林土であるが、砂質の乾性土壤のおおいことが特徴である。乾燥型が 6 に対し湿潤型が 4 の割合で分布している。この地域のポドゾルは標高が高いことと基岩が花崗岩類であるため、長野県との県境の地域に広く分布し、とくに稜線沿いには P_{Dr} 型が幅ひろく出現している。

黒ボク土は倉掛山および剣が峰の稜線に、ながく線状に分布している。

岩石地は金峰山、みずがき山、鶏冠山、小櫛山などに相当ひろく現われ、岩屑土は笛吹川の上流、東沢と西沢の周辺に団地状に分布している。

北部は甲府盆地の北部山地にあたり、地質は中生層と噴出岩類からなっている。中生層は増富層と呼ばれ、砂岩、粘板岩、頁岩などが互層をなしている。噴出岩は東から西へ帯那山、茅ガ岳、横尾山の 3 地域に分布している。

土壤はほとんど褐色森林土が占め、乾燥型と湿潤型の割合は 4 : 6 である。ポドゾルは小川山から派生する稜線地区のほかに、木賊峠北部の深成岩が露頭したところにもごく小面積みられる。

黒ボク土は横尾山の山頂部、茅ガ岳の山麓部に面としてひろがり、信州峠、木賊峠などの稜線沿いにも線状にあらわれている。

3.1.3 楯形山地

中新世にできたいわゆる御坂層がほとんどである。西部の赤石山地に近いところは桃ノ木層、富士川

よりは楕形山層となっている。

岩石は砂岩や礫岩のほか、凝灰岩などの火山岩がおおい。この地区の土壌は大部分が褐色森林土である。また乾性褐色森林土壌のなかで、B_B型よりB_O型がおおいことも特徴としてあげられる。ポドゾルは2,000mをこす千頭星山、大崖頭山に分布しているが、楕形山にはみられない。黒ボク土は甘利山と貫ガ岳の稜線沿いにわずかにみられる。岩屑土が楕形山を中心にしてひろく分布し、さらに南部にも各所に点在している。また山頂の平坦面にはわずかながら火山灰が残している。

3.1.4 天子山地

この地区は御坂層によって構成されるが、富士川の西八代層と東側の天子山脈層にわけられる。岩石は凝灰岩、集塊岩、凝灰質砂岩を主とし、頁岩、礫岩をともっている。また石英閃緑岩、閃緑玢岩などが脈岩となって現われている。土壌は大部分が褐色森林土であるが、乾燥型と湿潤型との出現率はほぼおなじである。静岡県との県境になっている天子山塊の急斜地には岩屑土がひろく分布している。また緩斜地には火山灰が厚く堆積している。

3.1.5 御坂山地

御坂層が命名された地区で安山岩、玢岩、凝灰岩などの火成岩を主とし、頁岩、砂岩、礫岩などの堆積岩をふくんでいる。土壌は大部分が褐色森林土で占められている。この地区は標高1,800mにちかい三ツ峠山、黒岳などがあるが、ポドゾルは出現しない。黒ボク土は三ツ峠山、黒岳、石割山、三国山などの山頂平坦面およびそれから派生する稜線沿いに線状にみられる。岩屑土は西湖の北部、足和田村から芦川村へかけて分布している。またこの地区は富士山をとりまいているので、火山灰が厚く堆積し、土壌母材となっている地域が多い。

3.1.6 八ガ岳火山地区

富士火山脈のなかでは噴火の歴史がふるい基岩は集塊岩と凝灰岩が互層をなしているが、いずれも安山岩質のものである。土壌の分布は褐色森林土壌が山ろくにわずかにみられるが、1,600mからポドゾルの漸移帯にかけて、褐色森林土壌の暗色系がひろく分布している。ポドゾルは集積層のみがみとめられるP_{DIII}型がおおく、溶脱層ははっきりみられるのは山頂にちかいところだけである。

黒色土は山腹から山ろくにかけて広大に分布している。なお、農耕地と接する地域には厚層黒ボク土壌、淡色黒ボク土壌がみられる。

3.1.7 富士火山地区

富士山の噴出物はきわめて流動性にとんだ塩基性のもので、はじめは多量の基底溶岩により山体ができ、その後は砂礫と溶岩がかわるがわる噴出して成層したと考えられている。富士山には集塊岩と凝灰岩がすくないのも特徴である。

土壌はきわめて未熟で、層位の分化もはっきりしていない。高山帯にあたる部分は高山岩屑性土壌、亜高山帯にあたる部分は褐色森林土壌の暗色系が分布している。褐色森林土は乾燥型が凸地形のところにならみられたが、すべて褐色森林土壌としてあらわした。

宝永山の噴出物でおおわれる東南山ろくにはきわめて未熟な粗粒火山抛出物未熟土壌がみられる。また剣丸尾、鷹丸尾などと呼ばれる溶岩流、青木ガ原樹海といわれている溶岩台地を岩屑土とした。

黒ボク土は西ろくの朝霧高原につづいた本栖湖の南東部と、東北ろくの梨ガ原周辺にひろく分布している。

雨 宮 嘉 彦 (山梨県林業試験場)
遠 藤 昭 (")

3.2 台地、低地の土壌

3.2.1 概 要

本県農地の主体をなすのは、八ッ岳山麓、茅ヶ岳山麓、富士山麓等の山麓および台地と、甲府盆地およびその周辺の台地である。

山麓および台地は主として黒ボク土からなり、樹園地、普通畑、水田として利用されているが、高位部では畑作率が高い。

甲府盆地は釜無川、笛吹川、荒川等の沖積土で灰色低地土が大部分を占めるが、南部地区にはグライ土もある。水田率が高いが秋落水田と高位収穫田とがあって収量の差は大きい。この地域は甲府市の経済圏域にあって、それぞれの立地条件を生かした適地適作経営を行なって、高位の生産をあげているが、近年甲府市およびその周辺部は他産業の発展に伴って就業人口の移動、農地の潰廃転用が激しくなっている。

甲府盆地周辺台地は黒ボク土、赤黄色土、灰色低地土等が分布し、畑作率が大きく、とくに果樹、桑園等樹園地の占有率が高い。

3.2.2 峡中地域

この地域は甲府盆地の平坦地区と御勅使扇状地区に大別される。

平坦地区は沖積地よりなるが土壌は数種のものが入り組み様でない。すなわち北西部には細粒灰色低地土壌が、西部の釜無川沿いには粗粒灰色土壌が、また中央部から南部に亘っては粗粒グライ土壌が、東北部には灰色低地土壌が主体的に分布するとともに、中央部から南部にかけてはこれ等が混在する。耕地としては水田割合が高いが、北西部から中央部にかけては高位収穫田がみられ、西部から南部にかけては秋落水田である。また中央部から南部にかけては、圃場整備事業が行なわれ、水稻と他作物との複合経営の進行がみられる。

御勅使扇状地区の土壌は洪積世堆積よりなる粗粒灰色低地土壌および細粒灰色低地土壌が主体をなす。粗粒土壌は表層より礫含量が多くて下層は礫土となる。細粒土壌は礫含量も多いが粘質である。両土壌とも大部分樹園地であり、常習早魃地であったが、畑灌施設が整備されつつあり安定した生産が期待できるようになりつつある。

3.2.3 峡東地域

この地域は盆地東部の平坦地区（笛吹川沿い）と平坦地周辺の台地地区および盆地に面した扇状地区に分かれている。

平坦地区（笛吹川沿い）は笛吹川の沖積地よりなり、上流地区は表層には礫の少ない砂質の粗粒灰色低地土壌であり、大部分果樹園となっている。下流地区は粗粒グライ土壌、グライ土壌であり水田である。

台地地区は暗赤色土壌であり、桑および果樹など樹園地が多いが、一般に強粘質土であり、理化学性が劣る。また一部には黒ボク土があり桑園となっている。盆地に面した扇状地区は灰色低地土壌が主体をなす。従来は水田が多く年により用水不足を生じ生産は不安定であったが、生産力は高い方に属していた。近年は水田は殆んどなく果樹園に変っている。

また笛吹川と重川にはさまれた段丘地区は淡色黒ボク土である。古くは養蚕業が盛んであったが、今日では桑園は殆んどなく果樹園となっており安定した生産をあげている。

3.2.4 峡北地域

この地域は八ッ岳山麓地区、茅ヶ岳山麓地区および釜無川、塩川沿いの平坦地区に大別される。

八ッ岳山麓地区は殆んど黒ボク土であるが、標高の高い所は厚層黒ボク土壌であり低位部に向って黒

ボク土壤、淡色黒ボク土壤となる。淡色黒ボク土壤は山麓低部の標高700m以下の逸見台地に主体的に分布するが、それより高い所でも尾根筋に散在する。

茅ヶ岳山麓地区には高位部に黒ボク土壤があり、低位部は暗赤色土壤で樹園地となっている。また低位部には細粒灰色低地土壤があり水田となっているが、作土直下に鉄盤層をもつものがある。両地区の黒ボク土は養分含量が少なく生産力は中庸であるが、肥沃度が高まっている古い畑では安定した高い収量をあげている。

平坦地区は釜無川、塩川の沖積地および段丘よりなるが、両河川の下流沿いには細粒灰色低地土壤が分布し主として水田となっており、とくに塩川沿いは高い生産をあげている。さらに釜無川上流には粗粒灰色低地土壤が分布し、水田となっているが浅耕田であって生産力は低い。

3.2.5 峡南地域

この地域は富士川沿いの平坦地区と山地に移り変わる台地地区とに大別される。

富士川沿いの平坦地区は細粒質灰色低地土壤が主体をなすが、その面積は少ない。主として水田となっているが、浅耕土で生産力の低い所もある反面、生産力阻害要因の認められない所もあって、その特徴は場所により著しく異なる。また地図上には図示しえないが、粗粒質灰色土壤で漏水過多田も点在する。

台地地区には黄色土壤があり畑地となっている。この土壤は強粘質土で酸性が強く生産力は高くない。

3.2.6 郡内地域

この地域は富士山麓地区、桂川上流沿いの平坦地、桂川下流に面した段丘の台地とに大別される。

山麓地区には主として粗粒黒ボク土壤が分布し、一部には黒ボク土稜もある。殆んど畑地として利用されているが生産力は低い。観光地のため耕地の潰廃転用も多いが、高冷地の特性を生かした近郊の農業へ進みつつある。

桂川沿いの平坦地区は上流より粗粒灰色低地土壤、細粒灰色低地土壤、黒ボク土壤と変るが水田としての利用が多い。粗粒灰色低地土壤のほかは生産力も高い。上流には多湿黒ボク土壤があり水田となっている。

桂川下流に面した台地は大部分黒ボク土壤であり畑地が多い。一部には暗赤色土壤があり樹園地として利用されている。

山 泉 辰 雄 （山梨県農業技術研究所）

4. 土地利用可能性等の概要

4.1 土地利用現況等の概要

総 説

本県は、本州中央高地の東南部に位置し、四周を山地に囲まれた起伏の激しい地勢であって、地形は北部から東部にかけては関東山地に属し、その南部は御坂、道志の山地である。西部には赤石山脈が南北に連なり、中央には甲府盆地を形成し、これをほぼ中央にして北西から斜めに南東への線上に八ヶ岳黒富士、茅ヶ岳および富士山などの火山地域がその両端を占めている。

気候は、一般に寡雨、乾燥に属し、寒暑の差が著しく年平均気温は $9^{\circ} - 15^{\circ}\text{C}$ 、年平均降水量 $1,207\text{mm}$ であるが、県南部の一部では $2,500\text{mm}$ に及んでいる地域もある。

河川は、富士川、相模川および多摩川の3水系に大別され、いずれの河川も流域面積が狭く、流路延長は短かく、かつ、河床勾配が急であり、流水の増減が著しい。

土地利用の現況は、こうした自然的要因に支配されており、林地が約77%にあたる $3,400\text{K}\text{m}^2$ を占めており、これらの森林の大部分は地勢急峻な、もろい地質の山岳地帯にある。台風、豪雨等による災害の発生が多く、土砂流失防備、水源涵養等、治山、治水の効果を図るための制約を受けるものが多い。また、本県の全森林面積の45.4%が国有林地であり大きなウエイトを占めているのが特色である。農用地は県土の約12%にあたる $480\text{K}\text{m}^2$ と極めて少なく、その分布は標高 100m から最高 $1,200\text{m}$ の間にあり、その大部分は甲府盆地および周辺丘陵地帯ならびに八ヶ岳、茅ヶ岳、富士山等の山麓に集団的に分布し、一部が各河川に沿って帯状に点在している。

耕地の利用状況についてみると、水田は全耕地の28%を占め、甲府盆地および富士川支流流域ならびに八ヶ岳山麓地域に分布しているが、近年稲作転換等の影響もさることながら、甲府盆地周辺から峡東地域にかけて果樹園（ブドウ、桃）への転換が増大している。

なお、畑地については、本県の特色である樹園地が全耕地の約44%を占めており、そのうち約57%が桑園となっており大きなウエイトを占めている。また果樹についてはブドウ、桃等が大半を占めており、全国でも有数の主産地としてきわめて有利な地位を占めている。

草地等については、八ヶ岳山麓および富士山西南麓の開拓地区を中心に分布している。

なお、畑地帯は選択的拡大に伴い果樹および桑園等の樹園地化が進んでいるが、盆地周辺台地や火山山麓は水源に乏しく常習干ばつ地が多いため畑地かんがい施設等の土地改良事業が推進されており、釜無右岸地域および笛吹沿岸地域については大規模な国営土地改良事業が実施され土地基盤の整備とあいまって、その成果が大きく期待されている。

以上が土地利用現況の概況であるが特に本県は富士箱根伊豆、秩父多摩および南アルプスの3国立公園と八ヶ岳中信高原国立公園等の天与の観光資源に恵まれており、これらの地域を拠点とする観光開発には大きな夢が残されているとともに、高度な開発が期待される地域である。さらに山梨県の土地利用現況を、峡中、峡南、峡北、郡内の4地域に区分し各地域ごとに記述する。

4.1.1 峡中、峡東地域

本地域は甲府盆地の大部分を占め、東は関東山地に接続する大菩薩峠を経て郡内地域に、西は峡北地区、南は峡南地域に、北は埼玉、長野県境に接しており、地区総面積は県土の29.3%を占めている。

地勢は主として笛吹川流域と釜無川流域からなり、これらに注ぐ支川は各地に扇状地を展開し、甲府盆地を形成しているが周辺は丘陵地および山岳地帯となっている。気象は夏期高温、冬期低温の乾燥度が高い内陸性盆地気候で冬期は季節風が強いが、降雨は少ない。雨量は中心部が温暖小雨区、東部が温暖中雨区に属し、春期の雨量が少ない。本地区は県都甲府市を擁し、本県行政経済文化および交通の中心として発展を続けている。

土地利用の現況についてみると県下で最も平地の多い地区であるが、その68.5%は林地によって占められ、農地の18.1%、その他の8.9%がこれにつづき宅地も甲府のほか山梨市、塩山市等の都市を擁することもあって4%と他の地区より高い割合を示している。

林地についてみると盆地を中心として北に伸びる荒川流域と西部白根三山を包含する野呂川流域および奥秩父山系から発する笛吹川流域からなっており樹種別にみると峡中地域においてはすぎ、ひのきの比重が大きく、天然性あかまつの存在も顕著である。峡東地域の笛吹川上流地域には天然林が多く、もみ、つが、とうひ、しらべ等の天然優良林がみられる。これらの林地の所有形態別をみると、県有林が54.3%を占め、民有林44.3%、国有林が1.4%となっており、その分布についてみると県有林地は、南アルプス、奥秩父山系、大菩薩嶺を中心とした小金沢連嶺および御坂山系枝嶺の奥地林を占め、民有林は里山地帯を占めている。なお、本地域は盆地をとりまく山岳が険しく、短距離の間に急傾斜をもって盆地に接しているところが多いため崩壊および土石流等による災害のおそれがある。また、野呂川流域、御岳昇仙峡、大菩薩峠等については、森林資源のもつ観光的価値の維持向上を図るため自然保護と調和のとれた土地利用の推進が要請されている。

農地については、釜無川と笛吹川の間を展開する盆地水田地帯と釜無右岸の盆地西部樹園地帯と笛吹左岸の東部樹園地帯および周辺山間地帯に大別される。

峡中地域である盆地水田地帯は沖積の砂質土壌で地下水が高く南部には老朽化湿田が多く、県営規模のたん水防除、排水事業等が実施されている。西部樹園地帯は御勅使川扇状地帯で砂礫土壌が多く常習干ばつ地であり、これらの干ばつ防止のため国営による釜無右岸土地改良事業が実施されており、その効果は顕著なものがある。

土地利用形態は水田地帯では水稲と野菜、養蚕の複合、樹園地帯では養蚕および果樹の専業が多い。

この地域は甲府市の経済圏域にあって、立地条件を生かした経営を行なって高位の生産をあげているが近年甲府市およびその周辺部は他産業の発展に伴って農用地の潰廃転用が激しくなっている。

一方、峡東地域は笛吹川沿岸平坦地と大菩薩嶺および御坂山塊の山裾の台地、丘陵および金川等の扇状地の緩傾斜地からなっており、土壌は粘質土、軽しょう土、礫質土等その場所により複雑な分布がみられ、多数の小河川があるが、水量が少なく大半の畑地は常習干ばつを受けている。従って、これが対策として笛吹川上流の広瀬ダムの建設と一連の計画のもとに国営による笛吹川沿岸土地改良事業が実施の段階にあり、その効果が期待されている。土地利用の現況はほとんどが樹園地であり、ぶどう、もも、かき等の果樹および桑園になっており、桑は曾根丘陵地帯が大半を占めている。

この地域は、気象、交通条件等に恵まれ、地域を通じて早くから果樹化が進んでおり、経営技術水準も高く、土地生産性、労働生産性においても他地域にまさっており、果樹王国山梨の中心的地位を築いている。また養蚕経営においても全国に名声を博しているが、農業の団地化、近代化に伴い各地に桑園と果樹園の混在競合が見られ問題を残しているため合理的な土地利用を樹立することが肝要である。

4.1.2 峡南地域

本地域は甲府盆地の南部から富士川と国鉄身延線に沿って南北に伸び、その南端は静岡県に隣接している。地区の東西端は御坂山塊および赤石山系前衛の急峻な山岳に囲まれている。

地勢は森林比率84.4%が示すように、甲府盆地一円の河川を集めて流下する富士川の沿岸と北部にわずかに平坦地が開けているほかは、多くの急流河川を抱えた山間地帯で形成されており、気象的には、大部分が温暖多雨区に属し、年平均温度は14度以上、降雨量は2,000mmを越え、気候は温和である。

土地利用の状況は、気象条件、立地条件に恵まれた富士川南部地域一帯は、本県を代表する林業地として知られており、すぎ、ひのき、人工林が多い。富士川右岸は、なら、かえで、しだ等の落葉広葉樹が多く、早川流域の低山帯には落葉広葉樹とあかまつが分布している。標高の高所には、ぶな、もみ、つが、とうひ、かんば類の植生がみられ、一方、人工林はすぎ、ひのき、まつ、からまつからなっている。県有林はほとんどが奥地未開発林であり、その多くが早川流域に集中している。国有林は佐野川水

源の団地のほかは小団地として点在しているが、県下国有林面積の61.8%を本地域で占めている。民有林は里山地帯を中心として分布しているが、特に8.6km²におよぶ広大な寺有林をもつ身延山久遠寺がある。

農業についてみると釜無川と笛吹川の合流点一帯の水田地帯と急峻な山岳の山あいを開いた急傾斜畑地帯からなっていて、地区北部の水田地帯は排水不良の湿地が多いため、生産性が低く、高度な土地利用への障害となっている。富士川沿岸の畑地は、ほとんどが急傾斜地で面積が狭いうえ農道等の整備がおくれており、また、土質も悪く雨期には、常に水害、耕地の崩落などの災害にさらされており、農業としての生産性や土地利用度は低い。また本地域の特産物として、南部地帯に約100haの茶の集団植栽計画が進められており将来が期待されている。

4.1.3 峡北地域

この地域は、県の北西部に位置し、東および南は、峡中、峡南地区に、北および西は八ヶ岳、駒ヶ岳をもって長野県に接している。

三方を2,500mを越える山岳に囲まれた、この地域は総面積の70.5%が山林で、南部の平地を除くと高低起伏の多い台地からなっている。この地域は富士川上流地にあたり、釜無川が主川となって中央部を流下しているが、この支流には急流の溪谷河川が多く、三方の山岳地帯はどれも国立または国定公園に指定されている。北部の八ヶ岳および東部の茅ヶ岳山麓は、広大な丘陵地帯で今後の開発が期待されているが、水資源に恵まれていない。

南部の河川沿い一帯は肥沃な土地で水田地帯となっており、畑は山間の緩傾斜地帯に点在している。地質についてみると、釜無川沿岸一帯は沖積層で花崗岩を母材とする砂土、砂壤土からなり土地生産性が高い。この外郭に台地をなして洪積層が分布し、畑作地帯となっている。気象は寒冷小雨区に属し、年平均気温は12度以下で年降水量は1,300mm前後で乾燥地帯である。とくに八ヶ岳山麓は冬期の季節風が強く寡雪乾燥地帯で夏季には高原の気候をあらわしている。

土地利用状況については森林が大半を占め、南アルプス、八ヶ岳および関東山地（奥秩父山系）と大きく3分される山岳林と、その間に展開する高原台地上の平地林、緩傾斜林で構成されている。これを所有形態別にみると県有林が全体の65%、民有林が35%となっている。県有林は急峻な南アルプス、八ヶ岳、奥秩父の山岳地帯に展開し、民有林は里山地帯に多く分布している。樹種別には、民有林のうち人工林はからまつ、あかまつ、天然林はあかまつ、くぬぎ等が多い。県有林は標高1,600mの植栽限界を境として上部はこめつが、しらべ、とうひ、だけかんばなどの高山地帯の植生から、下部はぶな、みづなら、かえで、なら類となっている。なお、八ヶ岳山麓は観光地としてすぐれた自然的性質を有するとともに、県有林地帯を中核とした高度利用による大規模開発の可能性を有しており、今後、中央道西宮線の建設等により、ますますその要請は高まるものと想定される。

農業についてみると、八ヶ岳、駒ヶ岳、茅ヶ岳の各山麓に区分され、この三大高原山麓が西は釜無川上流で、東は支流である塩川によって3分され、南面、西面、東面とそれぞれ異なって起伏する斜面に耕地が展開し、両河川は地区南部の垂崎において合流し、その沿岸は盆地水田地帯に接続する水田が開けている。土壌は南部の河川沿岸の灰色低地土壌の水田を除くほかは黒ボク土壌が多く、畑地は土壌浸食を受けやすい。利水は釜無川、塩川の両河川と山麓の湧水に依存しているため、冷害を受けやすい。耕地の状況は水田が48.9%を占めて県の穀倉地帯となっている。また樹園地は30%で桑園が多いが果樹園も年々増加している。

営農類型は、水稻と養蚕の複合が最も多く、また八ヶ岳山麓等の開拓地には酪農専業もある。なお、南部地帯には、一部に果樹（もも、ぶどう）の団地導入もみられるが、いまだ専業化まで達していない。なお、本地域は農家一戸当りの平均耕地面積は86aで県平均の65aに比べて、その経営規模は大きい。水田の用水不足、畑地における常習干ばつ地帯が多く、かつ、ほ場整備等の基盤整備がおくれ、機械化や近代化が進んでいない。

しかしながら、近年にいたり、国道はもとより、主要地方道等の舗装整備が進み、八ヶ岳横断道路の開設、国鉄中央本線の複線化、中央道西宮線の建設着工等、交通網を中心とする産業基盤の整備が明らかになり、自然景観を求める観光地として、また、農業再開発地帯として、ようやく脚光を浴びてきており、特に八ヶ岳、茅ヶ岳山麓などの広大なる未利用林地等の積極的な開発利用が期待できる地域である。

4.1.4 郡内地域

この地域は富士山麓および桂川流域を中心とする郡内地方で本県の東南部に位置している。西は小金沢山、笹子峠、御坂山塊等を経て、峡中、峡東地域に南西部の一部が王岳、竜ヶ岳を経て峡南地区に接しているほか、東は関東山地を経て東京都、神奈川県に、南は富士山を境に静岡県に、北は埼玉県に接しており、秩父多摩国立公園地帯から富士箱根伊豆国立公園まで南北に長く伸びている。この地域は林地が全面積の81.8%を占めており、急峻で谷川が多く、山中湖に源を発して地域内を東に流れる桂川を主流として、笹子川、葛野川、鶴川が注ぎ県外に至って秋山川、道志川が合流しているほか、北部には舟波川、小菅川があり、下流は多摩川となっている。平地部はこれら桂川等の流域および富士山麓地帯に存在しているにすぎない。

気象については、富士山麓一帯の地域は標高が高く、高原的気候であるが、寒冷多雨区に属し、年平均気温は11度以下であり、県内で最も厳寒の地であり、降雨量は2,000mmを越えている。

土地利用の状況は森林の比率が高く峡南地区に次いでいる。本地域は富士山麓、御坂山系および大菩薩嶺から発する桂川水系と奥秩父山系および大菩薩嶺から発する多摩川水系の流域に大別される。樹種別にみると、全般にあかまつ、からまつが多いが富士山麓地帯はからまつ、あかまつ、御坂山系はひのき、あかまつ、からまつ、多摩川水系はひのき、すぎ、あかまつ、からまつが多い。所有形態別には民有林が61.5%、県有林が38.3%となっており、国有林は0.2%にすぎない。これらの分布をみると、県有林は富士山麓、御坂山系、小金沢連嶺、道志山塊に分布し、富士山麓青木ヶ原に展開している樹海を除いて、その多くが陵線を中心とした奥地林である。民有林は多摩川流域水源地帯にある広大な東京都水源かんよう保安林(8,202ha)および丹沢山塊にある横浜市有林(2,800ha)を除いて、これより下部に存在し、公有林に比べて立地条件が良好である。

この地域は立地条件からして林業依存度が高く、とくに北都留全域はその傾向が強いが経営規模が零細で労働力の減少と共に林業の近代化は進んでいない。富士山麓は国立公園として、また多摩川、桂川水系は水源林として自然の保護、保水機能の増進、県土の保全など森林のもつ公益的機能への要請が強い。

農業についてみると、地域は御坂および笹子の山系により、国中地方と隔だっており、富士山麓と桂川流域の地帯に大別される。土壌は富士山麓は、黒ボク土壌および粗粒灰色低地土壌が主であり、桂川流域は黒ボク土壌が主であるが、いづれの地帯も畑地が多い。また北面傾斜が多く用水は不便で農地の生産力は低く、経営耕地面積も狭く、古くから発達している家内工業的機業との兼業が多い。しかし最近においては、中央道富士吉田線の建設等交通施設の整備に伴う観光客の増加に対応し、農業面においても高冷地の特異な自然環境を生かし、野菜、花き花木等園芸作物への転換や酪農の導入等が進められ近郊的農業へ脱皮しつつある。

営農類型は、畑作の雑穀を主体とする古い経営から近郊農業への変動期にあって、その型態は安定していないが、桂川流域の酪農、桂川流域および富士山麓東部における水稲と野菜の複合、同山麓西部における野菜、花きおよび酪農と野菜の複合経営が営まれているが、特に富士豊茂開拓地は面積1,600haを有し、酪農専業として安定した経営を確立しつつあり、草地酪農として県下に著名である。

最後に富士山を中心とした富士箱根伊豆国立公園には、山中湖、河口湖、西湖、精進湖、本栖湖の五湖、壮観な展望を有する三ツ峠、御坂山塊紅葉台のほか火山現象がもたらした胎内、氷穴、風穴、溶岩樹型、千古の謎を秘めた青木ヶ原樹海、世界に例をみない針もみの純林など数多くの観光資源があつて

世界的にもすぐれた観光地帯を形成している。

高木昭良（山梨県農務部農地開拓課）

4.2 土地利用可能性分級の概要

山梨県全域に対する土地利用可能性分級は、所定の分類基準に基づき1類地から8類地に区分することができる。各類地の分布状況は大要つぎにしめすとおりである。

1) 1類地

県中央部（峡中地域）には盆地北縁部分と御勸使扇状地の中央部から南部にかけての 47km^2 が県東部（峡東地域）には笛吹川上流左岸に 22km^2 が、また県北部（峡北地域）には 13km^2 が、県南部（峡南地域）に 5km^2 等が分布する。以上の各地域は土地の標高が低く（ H_1 ）、地形は殆んど平坦で（ S_1 ）、耕地土壌の生産力可能性分級（以下P分級と略称する）における等級が高い（ P_1 ）ことによるものである。

2) 2類地

この類地の分布面積は最も少なく全体で 48km^2 である。

この類地の分布は峡東地域に笛吹川左岸の1類地に接して 33km^2 が、峡南地域に富士川下流沿いに 11km^2 がある。また郡内地域の山野原町に 4km^2 分布する。以上の各地域に2類地が分布するのは、一般に土地の標高が低く（ H_1 ）、地形がほとんど平坦で（ $S_1\sim S_2$ ）、耕地土壌のP分級が高い（ $P_1\sim P_2$ ）ことによるものである。

3) 3類地

この類地は峡北地域に 198km^2 と最も広く分布する。釜無川右岸の平地、台地、山地の一部並びに八ヶ岳山麓の台地、および低地等に主体的に分布するほか茅ヶ岳山麓の台地および山間の低地にも分布する。郡内地域にも 144km^2 と広く分布するがその分布の主体は富士裾野である。他の地域に分布する面積は少ないが、峡東地域には曾根丘陵および御坂扇状地区、笛吹川上流の台地等に 90km^2 が分布し、峡南地域には富士川沿いの低地に 65km^2 が、峡中地域には市之瀬台地東側の一部と盆地北縁部に 25km^2 が分布する。以上の各地域に3類地が分布するのは、一般に土地の標高がやや高く（ H_2 ）、傾斜がゆるやかで（ $S_2\sim S_3$ ）、耕地土壌のP分級が高い（ P_2 ）ことによるものであるが、峡南地域では標高は低いが（ H_1 ）、傾斜がゆるやか（ S_3 ）なことによるためである。

4) 4類地

この類地は県全体の約 $\frac{1}{3}$ に相当する $1,513\text{km}^2$ をもち、県内の各地域に広く分布している。郡内地域には各河川沿いの低地および山地の低位部に 481km^2 が、峡南地域には富士川とその支川沿いの低地および山地の低位部に 354km^2 が、また峡東地域には山地の低位部に 280km^2 が分布する。峡北地域には八ヶ岳および茅ヶ岳山麓に 250km^2 が、峡中地域には盆地中央部および市之瀬台地等に 148km^2 が分布する。

以上の各地域に4類地が分布するのは、郡内、峡南、峡東地域の場合は標高がやや高く（ H_2 ）、傾斜がやや急（ S_4 ）によるものであるが、峡北地域では標高がやや高く（ H_2 ）傾斜がゆるやか（ S_2 ）であるが、P分級が高い（ P_3 ）ことによるものであり、峡中地域では標高は低く（ H_1 ）、平坦（ S_1 ）であるが耕地土壌のP分級がやや低い（ P_4 ）ことによるためである。

5) 5類地

この類地は県全体の $\frac{1}{3}$ 以上に相当する $1,585\text{km}^2$ をもち、県内の各地域に最も広く分布している。郡内地域には富士山麓、道志山地、丹波山地等の尾根筋を主体に 532km^2 が分布し、峡南地域には早川、富士川流域の山地に 498km^2 が、峡東地域には芦川、金川、笛吹川等の上流域の山地に 249km^2 が分布する。峡北地域には塩川、窪川、小武川等の上流域の山地および茅ヶ岳、八ヶ岳等に 164km^2 が、峡中地域には盆地北部の山地を主体に 142km^2 が分布する。以上の各地域に5類地が分布するのは、一般に土地の標高がやゝ高く(H_2)、傾斜がやゝ急峻($S_4\sim S_5$)であり、林地土壌のP分級がやゝ低い(P_4)ことによるものである。

6) 6類地

この類地の分布面積は 480km^2 である。峡北地域に最も広く分布し、金峰山、八ヶ岳、大岩山、鳳凰山等の山岳地に 126km^2 が分布する。峡南地域には大唐松山、白剝山、別当代山等の山岳地に 116km^2 が、峡中地域には小太郎山、高谷山等の山岳地に 110km^2 が分布する。峡東地域には黒金山、鶏冠山等の山岳地に 85km^2 が、郡内地域には御坂山系に 20km^2 が分布する。以上の各地域に6類地が分布するのは一般に土地の標高が高く(H_3)、傾斜がやゝ急峻($S_4\sim S_5$)ことによるものである。

7) 7類地

この類地の分布面積は 124km^2 であり、そのうち 71km^2 が峡南地域の青蘆山、策ヶ岳、大黒山等の山岳地に分布するほか、郡内地域には富士山頂の 20km^2 が、峡中地域には白根山系に 16km^2 が点在し、峡北地域では駒ヶ岳に 9km^2 が峡東地域では鶏冠山等に 8km^2 が分布する。

以上の各地域に7類地が分布するのはいずれも標高が高く(H_3 および森林限界以上)、傾斜は急峻(S_6)で、P分級が低い($P_4\sim P_5$)ことによるものである。

8) 8類地

この類地の分布面積は 104km^2 である。これは主として甲府の市街地並びに、富士川、釜無川、笛吹川、御勅使川、日川、重川等の河川敷や、富士五湖等の未区分地である。

山 県 辰 雄 (山梨県農業技術研究所)

B. 統 計 の 部

1 土 地 利 用 現 況

1.1 土地利用現況別面積市町村別内訳

区 分 市町村	農 地									草 地				
	田			畑						農 地 計	利 用 草 地			
	普 通 田	特 殊 田	計	普 通 畑	牧 草 畑	樹 園 地			永 年 牧 草 地		自 然 草 地	計	未 利 用 草 地 (原 野)	草 地 計
						果 樹 園	桑 園 ・ 茶 他	地						
県 計	150	1	151	81	5	76	100	176	413	2	6	8	94	102
甲 府 市	12	—	12	2	—	5	3	8	22	—	—	—	2	2
富 士 吉 田 市	5	—	5	3	—	—	—	—	8	—	—	—	—	—
塩 山 市	3	—	3	2	—	7	3	10	15	—	—	—	2	2
都 留 市	5	—	5	3	—	—	2	2	10	—	—	—	4	4
山 梨 市	4	—	4	1	—	8	4	12	17	—	—	—	—	—
大 月 市	3	—	3	3	—	—	4	4	10	—	—	—	6	6
韮 崎 市	12	—	12	1	—	2	9	11	24	—	—	—	2	2
小 計	44	—	44	15	—	22	25	47	106	—	—	—	16	16
春 日 居 町	1	—	1	—	—	3	—	3	4	—	—	—	1	1
牧 丘 町	1	—	1	2	—	1	4	5	8	—	—	—	—	—
三 富 村	—	—	—	—	—	—	1	1	1	—	—	—	2	2
勝 沼 町	—	—	—	—	—	9	—	9	9	—	—	—	—	—
大 和 村	—	—	—	—	—	—	1	1	1	—	—	—	—	—
小 計	2	—	2	2	—	13	6	19	23	—	—	—	3	3
石 和 町	2	1	3	—	—	5	—	5	8	—	—	—	—	—
御 坂 町	1	—	1	1	—	6	2	8	10	—	—	—	—	—
一 宮 町	—	—	—	—	—	10	—	10	10	—	—	—	—	—
八 代 町	2	—	2	1	—	3	2	5	8	—	—	—	—	—
境 川 町	2	—	2	1	—	1	2	3	6	—	—	—	1	1
中 道 町	2	—	2	1	—	—	4	4	7	—	—	—	—	—
芦 川 村	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
豊 富 村	1	—	1	1	—	—	3	3	5	—	—	—	—	—
小 計	10	1	11	6	—	25	13	38	55	—	—	—	1	1
上 九 一 色 村	—	—	—	3	2	—	—	—	5	1	3	4	4	8
三 珠 町	1	—	1	1	—	—	2	2	4	—	—	—	—	—
市 川 大 門 町	2	—	2	1	—	—	2	2	5	—	—	—	—	—
六 郷 町	1	—	1	1	—	—	2	2	4	—	—	—	—	—
下 部 町	1	—	1	2	—	—	2	2	5	—	—	—	7	7
小 計	5	—	5	8	2	—	8	8	23	1	3	4	11	15

(単位 Km²)

林 地											宅 地	公 共 用 地 ・ そ の 他	合 計
人 工 林			天 然 林			未 木 地			除 地	林 地 計			
針 葉 樹	広 葉 樹	計	針 葉 樹	広 葉 樹	計	採 用 し て い る 土 利 地	そ の 他	計					
945	17	971	580	1,674	2,254	13	156	169	—	3,394	64	490	4,463
42	5	47	9	50	59	—	4	4	—	110	11	26	171
50	—	50	19	7	26	1	8	9	—	85	3	24	120
48	1	49	10	81	91	—	4	4	—	144	3	21	185
61	1	62	7	64	71	1	1	2	—	135	2	11	162
5	1	6	4	10	14	—	1	1	—	21	3	12	53
63	—	63	17	152	169	—	1	1	—	233	2	30	281
15	—	15	22	44	66	—	9	9	—	90	2	25	143
284	8	292	88	408	496	2	28	30	—	818	26	149	1,115
1	—	1	1	5	6	—	—	—	—	7	1	1	14
27	1	28	12	39	51	—	7	7	—	86	1	7	102
20	—	20	41	59	100	—	6	6	—	126	—	7	136
6	—	6	2	12	14	—	1	1	—	21	1	6	37
5	1	6	—	31	31	—	3	3	—	40	—	2	43
59	2	61	56	146	202	—	17	17	—	280	3	23	332
1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	2	3	14
15	—	15	—	25	25	—	1	1	—	41	1	6	58
4	—	4	3	6	9	—	—	—	—	13	1	6	30
3	—	3	1	8	9	—	—	—	—	12	1	4	25
2	—	2	3	7	10	—	—	—	—	12	—	2	21
3	—	3	1	5	6	—	1	1	—	10	1	3	21
6	—	6	1	23	24	1	—	1	—	31	—	5	37
1	—	1	—	4	4	—	—	—	—	5	1	3	14
35	—	35	9	78	87	1	2	3	—	125	7	32	220
17	1	18	19	33	52	—	—	—	—	70	—	4	87
3	—	3	1	20	21	—	—	—	—	24	—	1	29
5	—	5	—	13	13	—	—	—	—	18	1	9	33
1	—	1	—	5	5	—	—	—	—	6	—	4	14
20	—	20	3	84	87	—	2	2	—	109	1	9	131
46	1	47	23	155	178	—	2	2	—	227	2	27	294

区 分 市町村	農 地								草 地					
	田			畑					農 地 計	利 用 草 地			未 利 用 草 地 (原 野 地)	草 地 計
	普 通 田	特 殊 田	計	普 通 畑	牧 草 畑	樹 園 地		計		永 年 牧 草 地	自 然 草 園	計		
						果 樹 園	桑園 その他							
増穂町	3	--	3	1	-	-	3	3	7	-	-	-	2	2
磯沢町	1	--	1	1	-	-	1	1	3	-	-	-	-	-
中富町	2	--	2	2	-	-	1	1	5	-	-	-	4	4
早川町	-	--	-	1	-	-	1	1	2	-	-	-	2	2
身延町	2	--	2	1	-	1	-	1	4	-	-	-	3	3
南部町	2	--	2	1	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
富沢町	1	--	1	2	-	-	1	1	4	-	-	-	1	1
小計	11	--	11	9	-	1	7	8	28	-	-	-	12	12
竜敷町	4	-	4	-	-	1	1	2	6	-	-	-	-	-
王島村	3	-	3	-	-	-	3	3	6	-	-	-	1	1
穂村	4	-	4	-	-	-	1	1	5	-	-	-	-	-
昭和町	4	-	4	1	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-
田富町	3	-	3	1	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
八田村	2	-	2	-	-	1	1	2	4	-	-	-	-	-
白根村	3	-	3	-	-	6	4	10	13	-	-	-	-	-
芦安村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
若草町	3	-	3	-	-	1	2	3	6	-	-	-	-	-
楡形町	1	-	1	1	-	3	6	9	11	-	-	-	1	1
甲西町	4	-	4	1	-	1	2	3	8	-	-	-	-	-
小計	31	-	31	4	-	13	20	33	68	-	-	-	2	2
双葉町	3	-	3	-	-	-	3	3	6	-	-	-	1	1
明野村	4	-	4	2	-	-	3	3	9	-	-	-	-	-
須玉町	6	-	6	2	-	-	3	3	11	-	-	-	6	6
高根町	7	-	7	4	-	-	3	3	15	-	-	-	5	5
長坂町	4	-	4	3	-	1	2	3	10	-	-	-	4	4
大泉村	3	-	3	2	-	-	-	-	6	-	-	-	7	7
小淵沢町	3	-	3	3	-	-	1	1	8	1	1	2	2	4
白州町	4	-	4	1	-	1	1	2	7	-	-	-	3	3
武川村	3	-	3	1	-	-	2	2	6	-	-	-	1	1
小計	37	-	37	18	3	2	18	20	78	1	1	2	29	31
秋山村	-	-	-	1	-	-	1	1	2	-	-	-	2	2
道志村	1	-	1	1	-	-	-	-	2	-	-	-	2	2
西桂町	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
忍野村	3	-	3	1	-	-	-	-	4	-	-	-	2	2
山中湖村	1	-	1	1	-	-	-	-	2	-	1	1	9	10

(単位Km²)

林 地											宅 地	公 共 用 地 ・ そ の 他	合 計
人 工 林			天 然 林			未 木 地			除 除 地 地	林 地 計			
針 葉 樹	広 葉 樹	計	針 葉 樹	広 葉 樹	計	採 用 し て い る 土 地 利 用	そ の 他	計					
25	2	27	8	14	22	-	-	-	-	49	1	6	65
14	-	14	3	20	23	-	-	-	-	37	-	7	47
4	-	4	7	12	19	-	-	-	-	23	-	11	43
32	1	33	88	205	293	2	32	34	-	360	-	6	370
35	-	35	1	68	69	-	2	2	-	106	1	17	131
58	1	59	1	36	37	-	3	3	-	99	1	9	112
51	-	51	2	23	25	-	2	2	-	78	-	5	88
219	4	223	110	378	488	2	39	41	-	752	3	61	856
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	13
6	-	6	2	19	21	-	-	-	-	27	1	5	40
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	8
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	9
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	10
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	8
5	-	5	1	13	14	-	-	-	-	19	2	5	39
8	-	8	78	28	106	-	3	3	-	117	-	31	148
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	11
15	-	15	1	11	12	-	1	1	-	28	2	1	43
1	-	1	-	2	2	-	-	-	-	3	1	4	16
35	-	35	82	73	155	-	4	4	-	194	10	71	345
-	-	-	2	3	5	-	-	-	-	5	1	6	19
2	-	2	2	6	8	-	1	1	-	11	1	8	29
31	1	32	27	66	93	1	17	18	-	143	1	13	174
12	-	12	7	8	15	3	4	7	-	34	1	10	65
6	-	6	5	6	11	-	1	1	-	18	1	10	43
16	-	16	13	9	22	-	10	10	-	48	1	1	63
6	-	6	4	4	8	-	1	1	-	15	1	6	34
10	-	10	51	56	107	1	2	3	-	120	1	4	135
6	-	6	23	12	35	-	9	9	-	50	-	3	60
89	1	90	134	170	304	5	45	50	-	444	8	61	622
6	-	6	-	33	33	1	-	1	-	40	-	1	45
28	1	29	-	38	38	-	1	1	-	68	-	7	79
8	-	8	2	2	4	-	-	-	-	12	1	2	16
13	-	13	-	-	-	-	-	-	-	13	-	6	25
10	-	10	4	7	11	1	7	8	-	29	1	10	52

区分 市町村	農地								草地					
	田			畑					農地計	利用草地			未(原)利用(野)草地	草地計
	普通田	特殊田	計	普通畑	牧草畑	樹園地				永年牧草地	自然草地	計		
						果樹園	桑園・茶園・その他	計						
河口湖町	2	—	2	4	—	—	—	—	6	—	—	—	3	3
勝山村	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
足和田村	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
鳴沢村	—	—	—	3	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—
小計	8	—	8	13	—	—	1	1	22	—	1	1	18	19
上野原町	2	—	2	5	—	—	2	2	9	—	1	1	2	3
小菅村	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
丹波山村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小計	2	—	2	6	—	—	2	2	10	—	1	1	2	3
市計	44	—	44	15	—	22	25	47	106	—	—	—	16	16
郡計	106	1	107	66	5	54	75	129	307	2	6	8	78	86
県計	150	1	151	81	5	76	100	176	413	2	6	8	94	102

- (註) 1. 農地 昭和43年山梨県統計年鑑 経営土地種類別面積
2. 草地 “ ”
3. 林地 昭和43年—44年山梨県農林水産統計年報
4. 宅地 昭和43年山梨統計年鑑 地目別面積
5. 公共用地、その他 総面積より農地、草地、林地、宅地面積を差引いた残りの数である。

(単位 Km²)

人 工 林			天 然 林			未 木 地			除 地	林 地 計	宅 地	公 共 用 地 ・ そ の 他	合 計
針 葉 樹	広 葉 樹	計	針 葉 樹	広 葉 樹	計	採 用 し て い る 土 利 地	そ の 他	計					
32	—	32	3	8	11	—	3	3	—	46	1	7	63
2	—	2	—	—	—	—	—	—	—	2	—	1	4
7	—	7	5	8	13	—	1	1	—	21	—	6	28
29	—	29	34	8	42	—	7	7	—	78	—	9	90
135	1	136	48	104	152	2	19	21	—	309	3	49	402
20	—	20	13	68	81	—	—	—	—	101	2	9	124
14	—	14	2	31	33	1	—	1	—	48	—	3	52
18	—	18	15	63	78	—	—	—	—	96	—	5	101
52	—	52	30	162	192	1	—	1	—	245	2	17	277
284	8	292	88	408	496	2	28	30	—	818	26	149	1,115
670	9	679	492	1,266	1,758	11	128	139	—	2,576	38	341	3,348
954	17	971	580	1,674	2,254	13	156	169	—	3,394	64	490	4,463

1-2 D.I.D おおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳

区分 市	市街地の内訳									市街地外の内訳						合計	
	商業区	工業区			住宅区	その他				市街地計	農地	草地	林地	宅地	公 共 用 の 地 他		計
		重 業 工 地	軽 業 工 地	計		漁 業 区	運 輸 区	公 共 区	計								
甲府市	3	1	3	4	6	-	1	3	4	17	22	2	110	5	15	154	171
合計	3	1	3	4	6	-	1	3	4	17	22	2	110	5	15	154	171

註(1) 本表作成については行政区域の総面積及び市街地外の農地、草地、林地の面積は昭和43年度県統計資料に基く面積を掲記した。

(2) 市街地の総面積は昭和45年国勢調査資料に基く面積を掲記した。

(3) 商業区、工業区、住宅区、その他の区的面積は昭和46年4月甲府市編集に係る甲府都市計画を参照し次のとおりとする。

(イ) 商業区及び工業区は記載面積を掲記し、工業区の重工業地は工業地域とし工業専用地区も含む軽工業地は準工業地域とした。

(ロ) 運輸区は鉄道用地、倉庫、運輸倉庫、車庫運輸会社等の面積とした。

(ハ) 公共区は道路及び河川敷、学校、官公署、病院、公園遊園地、競技場、寺院、墓地等の面積とした。

(ニ) 住宅区は市街地の総面積より前記の面積計を減じた数字を掲記した。

(ホ) 市街地外の宅地面積は昭和43年山梨県統計年鑑地目別より市街地の住宅区面積を減じた数字を掲記した。

(ヘ) 市街地外(公共用地その他)の面積は市の総面積より上記の合計面積を減じた数字を掲記した。

2 自然的土地条件

2.1 傾斜区分別面積市町村別内訳

(単位Km²)

市町村	傾斜区分	0～3°	3～8°	8～15°	15～20°	20～30°	30～40°	40°～	合計	備考
甲府市		48	2	15	48	52	5	1	171	
富士吉田市		0	53	30	15	19	3	0	120	
塩山市		8	11	9	36	112	9	0	185	
都留市		0	0	15	40	99	8	0	162	
山梨市		19	3	13	11	7	0	0	53	
大月市		0	2	6	40	190	43	0	281	
韭崎市		13	29	30	9	57	5	0	143	
市計		88	100	118	199	536	73	1	1,115	
春日居町		4	1	1	4	4	0	0	14	
牧丘町		1	4	8	34	55	0	0	102	
三富村		0	0	0	2	98	35	1	136	
勝沼町		4	7	1	8	17	0	0	37	
大和村		0	0	3	9	31	0	0	43	
小計		9	12	13	57	205	35	1	332	
石和町		12	0	0	2	1	0	0	15	
御坂町		3	6	6	9	30	4	0	58	
一宮町		11	6	2	6	5	0	0	30	
八代町		8	4	6	4	3	0	0	25	
境川村		2	6	3	3	7	0	0	21	
中道町		3	7	1	3	7	0	0	21	
芦川村		0	0	0	1	27	9	0	37	
豊富村		1	5	2	3	3	0	0	14	
小計		40	34	20	31	83	13	0	221	
上九一色村		14	34	2	1	26	9	0	86	
三珠町		2	3	1	1	17	5	0	29	
市川大門町		5	2	3	4	19	0	0	33	
六郷町		1	0	5	6	2	0	0	14	
下部町		2	1	8	10	66	41	3	131	
小計		24	40	19	22	130	55	3	293	
増穂町		8	0	0	6	35	13	32	65	
畷沢町		0	0	0	0	34	13	0	47	
中富町		1	0	10	12	14	6	0	43	
早川町		0	0	0	0	67	249	54	370	
身延町		2	9	10	10	60	37	3	131	

(単位Km²)

市町村	傾斜区分	0~3°	3~8°	8~15°	15~20°	20~30°	30~40°	40°~	合計	備考
南部町		0	2	9	6	50	39	6	112	
富沢町		0	1	7	14	37	27	2	88	
小計		11	12	36	48	297	384	68	856	
竜王町		13	0	0	0	0	0	0	13	
敷島町		2	1	13	17	6	1	0	40	
玉穂町		8	0	0	0	0	0	0	8	
昭和町		9	0	0	0	0	0	0	9	
田富町		10	0	0	0	0	0	0	10	
八田村		8	0	0	0	0	0	0	8	
白根町		18	0	1	0	14	6	0	39	
芦安村		0	0	0	5	18	112	13	148	
若草町		11	0	0	0	0	0	0	11	
櫛形町		12	2	1	4	17	7	0	43	
甲西町		11	2	1	0	2	0	0	16	
小計		102	5	16	26	57	126	13	345	
双葉町		5	9	5	0	0	0	0	19	
明野村		0	12	16	1	0	0	0	29	
須玉町		0	4	39	54	72	5	0	174	
高根町		0	37	18	4	6	0	0	65	
長坂町		4	31	5	0	2	1	0	43	
大泉村		0	16	29	1	13	4	0	63	
小淵沢町		0	24	8	0	2	0	0	34	
白州町		6	8	15	4	43	54	5	135	
武川村		0	6	5	13	21	14	1	60	
小計		15	147	140	77	159	78	6	622	
秋山村		0	0	0	3	39	3	0	45	
道志村		0	0	10	4	51	14	0	79	
西桂町		0	0	0	5	9	2	0	16	
忍野村		5	0	12	6	2	0	0	25	
山中湖村		7	18	25	0	2	0	0	52	
河口湖町		9	15	0	5	31	3	0	63	
勝山村		0	4	0	0	0	0	0	4	
足和田村		2	2	0	0	17	7	0	28	
鳴沢村		3	34	29	11	8	5	0	90	
小計		26	73	76	34	159	34	0	402	
上野原町		1	3	18	11	73	18	0	124	
小菅村		0	0	0	0	35	17	0	52	
丹波山村		0	0	0	0	35	65	1	101	
小計		1	3	18	11	143	100	1	277	
合計		316	426	456	505	1,769	898	93	4,463	

2.2 標高区分別面積市町村別内訳

(単位Km²)

標高区分 市町村	0～ 100m	100～ 200m	200～ 400m	400～ 600m	600～ 800m	800～ 1000m	1000～ 1500m	1500m ～	合計	備考
甲府市	0	0	60	13	9	12	50	27	171	
富士吉田市	0	0	0	0	17	19	57	27	120	
塩山市	0	0	6	18	17	21	84	39	185	
都留市	0	0	0	43	45	29	43	2	162	
山梨市	0	0	24	10	7	6	6	0	53	
大月市	0	0	21	55	54	50	83	18	281	
韭崎市	0	0	23	36	22	20	24	18	143	
小計	0	0	134	175	171	157	347	131	1,115	
春日居町	0	0	6	2	2	3	1	0	14	
牧丘町	0	0	0	8	11	13	38	32	102	
三富村	0	0	0	0	5	7	49	75	136	
勝沼町	0	0	8	8	4	7	10	0	37	
大和村	0	0	0	0	6	12	21	4	43	
小計	0	0	14	18	28	42	119	111	332	
石和町	0	0	13	1	1	0	0	0	15	
御坂町	0	0	8	6	7	8	27	2	58	
一宮町	0	0	13	5	4	3	5	0	30	
八代町	0	0	10	5	5	4	1	0	25	
境川村	0	0	8	4	3	3	3	0	21	
中道町	0	0	12	3	3	2	1	0	21	
芦川村	0	0	0	0	2	7	23	5	37	
豊富村	0	0	9	2	2	1	0	0	14	
小計	0	0	73	26	27	28	60	7	221	
上九一色村	0	0	0	0	6	15	65	0	86	
三珠町	0	0	6	6	7	3	7	0	29	
市川大門町	0	0	12	11	5	4	1	0	33	
六郷町	0	0	10	4	0	0	0	0	14	
下部町	0	0	19	28	19	26	39	0	131	
小計	0	0	47	49	37	48	112	0	293	
増穂町	0	0	7	9	9	7	15	18	65	
沢町	0	0	9	9	6	5	11	7	47	
中富町	0	0	16	14	5	3	4	1	43	
早川町	0	0	0	16	29	34	116	175	370	
身延町	0	2	26	20	37	20	22	4	131	
南部町	0	15	21	23	18	16	19	0	112	
富沢町	0	11	33	15	12	9	8	0	88	
小計	0	28	112	106	116	94	195	205	856	

(単位Km²)

標高区分 市町村名	0～ 100 m	100～ 200 m	200～ 400 m	400～ 600 m	600～ 800 m	800～ 1000 m	1000～ 1500 m	1500 m 以上	合 計	備 考
竜 王 町	0	0	13	0	0	0	0	0	13	
敷 島 町	0	0	3	9	8	9	9	2	40	
玉 穂 町	0	0	8	0	0	0	0	0	8	
昭 和 町	0	0	9	0	0	0	0	0	9	
田 富 町	0	0	10	0	0	0	0	0	10	
八 田 村	0	0	8	0	0	0	0	0	8	
白 根 町	0	0	16	3	5	4	7	4	39	
芦 安 村	0	0	0	0	1	4	28	115	148	
若 草 町	0	0	11	0	0	0	0	0	11	
楡 形 町	0	0	12	8	6	5	6	6	43	
甲 西 町	0	0	13	2	1	0	0	0	16	
小 計	0	0	103	22	21	22	50	127	345	
双 葉 町	0	0	12	6	1	0	0	0	19	
明 野 村	0	0	0	8	15	6	0	0	29	
須 玉 町	0	0	0	10	8	23	98	35	174	
高 根 町	0	0	0	0	21	10	29	5	65	
長 坂 町	0	0	0	0	24	9	6	4	43	
大 泉 村	0	0	0	0	0	8	26	29	63	
小 淵 沢 町	0	0	0	0	0	19	12	3	34	
白 州 町	0	0	0	3	27	11	38	56	135	
武 川 村	0	0	0	9	10	6	13	22	60	
小 計	0	0	12	36	106	92	222	154	622	
秋 山 村	0	0	2	14	19	7	3	0	45	
道 志 村	0	0	0	0	14	30	34	1	79	
西 桂 町	0	0	0	2	5	3	4	2	16	
忍 野 村	0	0	0	0	0	15	10	0	25	
山 中 湖 村	0	0	0	0	0	23	29	0	52	
河 口 湖 村	0	0	0	0	1	26	28	8	63	
勝 山 村	0	0	0	0	0	3	1	0	4	
足 和 田 村	0	0	0	0	0	11	14	3	28	
鳴 沢 村	0	0	0	0	0	1	50	39	90	
小 計	0	0	2	16	39	119	173	53	402	
上 野 原 町	0	0	24	40	22	24	14	0	124	
小 菅 村	0	0	0	0	8	14	28	2	52	
丹 波 山 村	0	0	0	0	9	18	51	23	101	
小 計	0	0	24	40	39	56	93	25	277	
合 計	0	28	521	488	584	658	1,371	813	4,463	

2.3 地形区分別面積市町村別内訳

地形区分 市町村	山 地					火 山 地					丘 陵 地		
	大起伏	中起伏	小起伏	山麓地	合 計	大起伏	中起伏	小起伏	火山麓地	合 計	小起伏	大起伏	合 計
甲 府 市	7	31	0	0	38	33	43	0	0	76	0	0	0
富士吉田市	4	8	6	2	20	12	12	42	27	93	0	0	0
塩 山 市	75	63	12	0	150	0	0	0	0	0	0	0	0
都 留 市	68	36	25	15	144	0	0	0	0	0	0	0	0
山 梨 市	0	0	0	0	0	0	16	7	5	28	0	0	0
大 月 市	165	61	24	7	257	0	0	0	0	0	0	0	0
韭 崎 市	44	16	7	8	75	0	0	15	7	22	0	4	4
小 計	363	215	74	32	684	45	71	64	39	219	0	4	4
春 日 居 市	0	0	0	0	0	0	8	2	0	10	0	0	0
牧 丘 町	21	41	0	0	62	0	22	3	0	25	0	0	0
三 富 村	132	3	0	0	135	0	0	0	0	0	0	0	0
勝 沼 町	14	6	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0
大 和 村	27	16	0	0	43	0	0	0	0	0	0	0	0
小 計	194	66	0	0	260	0	30	5	0	35	0	0	0
石 和 町	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0	0	0
御 坂 町	29	9	0	2	40	0	0	0	0	0	0	0	0
一 宮 町	0	12	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0
八 代 町	7	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0
境 川 村	8	0	0	0	8	0	0	0	0	0	5	0	5
中 道 町	7	0	0	1	8	0	0	0	0	0	6	0	6
芦 川 村	32	0	0	1	33	0	0	0	0	0	0	0	0
豊 富 村	2	2	2	0	6	0	0	0	0	0	3	0	3
小 計	85	23	2	4	114	0	3	0	0	3	14	0	14
上 九 一 色 村	22	8	4	0	34	0	0	12	34	46	0	0	0
三 珠 町	13	7	4	0	24	0	0	0	0	0	1	0	1
市 川 大 門 町	14	0	10	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0
六 郷 町	0	0	10	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0
下 部 町	79	8	35	0	122	0	0	0	0	0	0	0	0
小 計	128	23	63	0	214	0	0	12	34	46	1	0	1
増 穂 町	38	18	0	0	56	0	0	0	0	0	0	0	0
鰍 沢 町	28	6	4	0	38	0	0	0	0	0	0	0	0
中 富 町	9	6	18	0	33	0	0	0	0	0	0	0	0
早 川 町	353	0	0	0	353	0	0	0	0	0	0	0	0
身 延 町	79	17	9	2	107	0	0	0	0	0	0	0	0
南 部 町	84	11	2	0	97	0	0	0	0	0	0	0	0
富 沢 町	31	29	19	0	79	0	0	0	0	0	0	0	0
小 計	622	87	52	2	763	0	0	0	0	0	0	0	0

(単位Km²)

台地・段丘				低地			その他*	合計
砂礫	ローム	岩石	合計	扇状地性	三角州性	合計		
0	0	0	0	27	24	51	6	171
0	0	0	0	7	0	7	0	120
7	9	0	16	13	0	13	6	185
6	1	0	7	11	0	11	0	162
2	0	0	2	15	0	15	8	53
12	0	0	12	12	0	12	0	281
0	0	0	0	28	0	28	14	143
27	10	0	37	113	24	137	34	1,115
0	0	0	0	3	0	3	1	14
2	2	0	4	10	0	10	1	102
0	0	0	0	1	0	1	0	136
7	2	0	9	6	0	6	2	37
0	0	0	0	0	0	0	0	43
9	4	0	13	20	0	20	4	332
0	0	0	0	9	0	9	3	15
13	1	0	14	4	0	4	0	58
6	0	0	6	11	0	11	1	30
8	1	0	1	9	0	9	0	25
4	0	0	4	3	1	4	0	21
0	0	0	0	2	2	4	3	21
1	0	0	1	3	0	3	0	37
0	0	0	0	1	2	3	2	14
32	2	0	2	42	5	47	9	221
0	0	0	0	2	0	2	4	86
0	0	0	0	3	1	4	0	29
0	0	0	0	3	3	6	3	33
1	0	0	0	3	0	3	0	14
0	0	0	0	5	0	5	4	131
1	0	0	0	16	4	20	11	293
0	0	0	0	7	2	9	0	65
0	0	0	0	7	0	7	2	47
0	0	0	0	6	0	6	4	43
0	0	0	0	17	0	17	0	370
1	0	0	1	13	1	14	9	131
0	2	0	2	9	0	9	4	112
0	0	0	0	8	0	8	1	88
1	2	0	3	67	3	70	20	856

※1 地形分類図上に誇張して示された河床部分を意味する。やや粗大な礫よりなる部分が多い。

市町村	地形区分					火山地					丘陵地		
	山	地				大起伏	中起伏	小起伏	火山地	合計	小起伏	大起伏	合計
竜王町	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0
敷島町	0	1	0	0	1	4	11	19	0	34	0	0	0
玉穂町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
田富村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白根村	15	4	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0
芦安村	148	0	0	0	148	0	0	0	0	0	0	0	0
若草町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
楡形町	11	17	0	0	28	0	0	0	0	0	0	4	4
甲西町	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	2
小計	174	24	0	0	198	4	11	19	3	37	0	6	6
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	5	11	16	0	0	0
明野村	0	0	0	0	0	5	0	5	12	22	0	0	0
須玉町	9	46	1	1	57	18	46	29	17	110	0	0	0
高根町	0	1	0	0	1	2	1	14	44	61	0	0	0
長坂町	0	0	0	0	0	2	2	4	33	41	0	0	0
大泉町	0	0	0	0	0	14	12	23	14	63	0	0	0
小淵沢町	0	0	0	0	0	2	2	6	23	33	0	0	0
白州町	90	10	0	7	107	0	0	0	0	0	0	0	0
武川村	27	16	0	0	43	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	126	73	1	8	208	43	63	86	154	346	0	0	0
秋山村	0	29	6	5	40	0	0	0	0	0	0	0	0
道志村	22	42	0	10	74	0	0	0	0	0	0	0	0
西桂町	7	0	3	0	10	0	0	0	4	4	0	0	0
忍野村	0	2	0	1	3	2	3	1	11	17	0	0	0
山中湖村	0	10	0	7	17	0	16	3	6	25	0	0	0
河口湖村	29	3	0	0	32	0	0	3	17	20	0	0	0
勝山村	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0
足和田村	10	7	0	0	17	0	0	0	7	7	0	0	0
鳴沢村	0	2	0	0	2	21	20	36	10	87	0	0	0
小計	68	95	9	23	195	23	39	43	59	164	0	0	0
上野原村	32	31	30	12	105	0	0	0	0	0	0	0	0
小菅村	47	3	0	0	50	0	0	0	0	0	0	0	0
丹波山村	98	0	2	0	100	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	177	34	32	12	255	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,937	640	233	81	2,891	115	217	229	289	850	15	10	25

(単位 Km²)

台地・段丘				低地			その他	合計
砂礫	ローム	岩石	合計	扇状地性	三角州性	合計		
0	0	0	0	9	0	9	1	13
0	0	0	0	5	0	5	0	40
0	0	0	0	2	6	8	0	8
0	0	0	0	8	0	8	1	9
0	0	0	0	4	3	7	3	10
0	0	0	0	5	0	5	3	8
1	0	0	1	17	1	18	1	39
0	0	0	0	0	0	0	0	148
0	0	0	0	5	3	8	3	11
0	0	0	0	11	0	11	0	43
0	0	0	0	6	4	10	2	16
1	0	0	1	72	17	89	14	345
0	0	0	0	3	0	3	0	19
3	4	0	7	0	0	0	0	29
4	0	0	4	2	0	2	1	174
1	1	0	2	1	0	1	0	65
0	0	0	0	0	0	0	2	43
0	0	0	0	0	0	0	0	63
0	0	0	0	0	0	0	1	34
2	17	0	19	5	0	5	4	135
6	0	0	6	8	0	8	3	60
16	22	0	38	19	0	19	11	622
2	1	0	3	2	0	2	0	45
1	0	0	1	4	0	4	0	79
0	0	0	0	2	0	2	0	16
0	0	0	0	0	5	5	0	25
0	0	0	0	3	0	3	7	52
0	0	0	0	2	3	5	6	63
0	0	0	0	0	0	0	0	4
0	0	0	0	2	0	2	2	28
0	0	0	0	1	0	1	0	90
3	1	0	4	16	8	24	15	402
3	8	0	11	8	0	8	0	124
0	0	0	0	2	0	2	0	52
1	0	0	1	0	0	0	0	101
4	8	0	12	10	0	10	0	277
94	49	0	143	375	61	436	118	4463

2.4 表層地質分布面積市町村別内訳

(単位 Km²)

市町村名	未固結堆積物						固結堆積物							
	礫	砂	(泥炭を含む)	左各記岩互石の層	碎屑物	計	礫岩	砂岩	泥(頁岩・粘板岩)	珪岩質岩石	左の記各互岩石層	輝緑凝灰岩	石灰岩	計
甲府市	1	20	9	23	5	58					6	0		6
富士吉田市	3	0	0		21	24	2	1	0			—		3
塩山	9			3	9	21	0	7	5		23			35
都留	8				1	9	2	0	0			—		2
山梨	17			3	2	22						—	—	0
大月	15	0			6	21	12	28	64	1	45	2	0	152
韮崎	29		1	2	6	38	0	0	21			—		21
市計	82	20	10	31	50	193	16	36	90	1	74	2	0	219
東山梨郡部計	15	0	0	4	16	35	0	3	16	0	0	0	0	19
春日町	0	0	0	4	0	4				—		—	—	0
牧丘町	4	0	0	0	10	14				0		—	—	0
三富村	2	0			1	3	0			0		—	—	0
勝沼町	8	0	0	0	4	12	0	2	12	—	0	0	0	14
大和村	1	0	0	0	1	2	0	1	4		0		0	5
東八代郡部計	47	13	1	16	10	87	0	1	4	0	0	0	0	5
和坂町	6	5	1	2	0	14				—		—	—	0
御坂町	12		0	0	4	16			1	0	0	—	—	1
一宮町	10	0	0	4	0	14	0	1	3	—	0	—	—	4
八代町	11	1	0	0	2	14	—	—	—	—	—	—	—	0
境川村	3	2	0	2	2	9	0	0				—	—	0
中道川村	3	3	0	4	0	10			0	—		—	—	0
芦川村	2	0	0	0	0	2				—		—	—	0
豊富村	0	2	0	4	2	8			0	—		—	—	0
西八代郡部計	5	2	0	11	4	22	8	1	51	0	11	0	0	70
上九一色村	2	0	0	0	1	3	3	0	7		0	—	—	10
三珠町	2	2	0	3	1	8			0	—	0	—	—	0
市川大門町	1	0	0	7	1	9	1	0	4	—		—	—	5
六郷町	0	0	0	1	0	1	0	0	7	—	0	—	—	7
下部町	0	0	0	0	1	1	4	0	33	—	11	—	—	48
南巨摩郡部計	28	0	0	16	24	68	84	56	104	2	277	4	0	527
増穂町	8	0	0	0	4	12		0	12	—	0	—	—	12
鵜沢町	4	0	0		2	6	3	0	5			—	—	8
中富町	1	0	0	2	3	6	12	0	7	—	1	—	—	20
早川町	5	0	0	0	11	16	10	40	63	2	185	4	0	304
身延町	4	0	0	8		12	23	9	11		25			68
南部町	3	0	0	4	2	9	8	2	5		40	—	—	55
富沢町	3	0	0	2	2	7	28	5	1		26	—	—	60
中巨摩郡部計	31	15	3	61	9	119	0	0	18	0	87	0	0	105
竜王町	2	0	0	7	0	9	—			—		—	—	0
敷島町	2	0	0	4	1	7				—		—	—	0

(単位 Km²)

市町村名	表層地質										
	火山灰砂	火山碎屑物	軽石	シラス	ローム	凝灰岩 集塊岩 および 角礫岩	凝灰岩質 岩石	流紋岩質 岩石	安山岩質 岩石	玄武岩質 岩石	計
甲府市				—		49			16		65
富士吉田市	7	42		—		0	0		14	30	93
塩山市		7	0	—	10				3		20
都留市	11		0	—	9		14	2	90	11	137
山梨市	0	0	0	—	0	20	0	0	4	0	24
大月市			0	—	8	2	17	1	31	2	61
韭崎	0	26	0	—	11		0	0	30		67
市計	18	75	0	0	38	71	31	3	188	43	467
東山梨郡計	0	2	0	0	4	28	0	0	25	0	59
春日居町	0	0		—	0	7	0		3		10
牧丘町	0	2	0	—	2	21	0	0	14		39
三富町	—	0	—	—	0	0	0	0	7		7
勝沼町		0	0	—	2		0		0		2
大和町	0	—	—	—	0		—	0	1	0	1
東八代郡計	0	0	0	0	9	0	2	9	9	16	47
石和町	0	0	0	—	0	0		0	1	0	1
御沢町	0		0	—	2		0	2	3	1	8
一宮町			0	—	1			—		0	1
八代町	0		0	—	1		—	—	—	—	1
境川村	0	0	—	—	2	1	0	0	2	0	5
中道町	0	0	0	—	2	0	0	3	3	2	10
芦川村	0	0	0	—	0	0	2	0	0	13	15
豊富村	0	1	0	—	1	0		4			6
西八代郡計	0	12	0	0	1	0	27	5	22	124	191
上九一色村				—	0	0	4	0	2	51	69
三珠町	0	0	—	—	1	0	0	4	2	12	19
市川大門町	0	0	—	—	—	0	0		16	3	19
六郷町	0	0	—	—	0	0	2	0	2	2	6
下部			—	—		0	21	1	0	56	78
南巨摩郡計	0	0	0	0	0	95	16	6	114	0	231
増穂町				—	0	0	0		40		40
鯨沢町		0		—	0		1	0	32		33
中富町	0			—		4	5	0	8	0	17
早川町			0	—	0	18	0	0	25		43
身延町	0		—	—		39	1		5		45
南郷町	0	—	—	—	0	19	5	4	4		32
富沢町	0		—	—	0	15	4	2			21
中巨摩郡計	0	12	0	0	4	17	0	0	62	0	95
竜王町	0	4	0	—	0	0	0		0	0	4
敷島町		8	0	—	0	17	0	0	4	0	29

(単位 Km²)

表層地質 市町村名	深成岩				変成岩					圧 砕 岩	合 計	備 考
	斑岩及び 玢岩	花崗岩 質岩石	斑禰岩 質岩石	蛇紋岩 質岩石	計	ホルン フェルス	緑色 片岩	黒色 片岩	その他の 片岩			
甲府市		39			39	3	—		—	3		171
富士吉田市				—	0		—	—		0	0	120
塩山市		90		—	90	19	—			19	0	185
都留市	1	13		—	14			—		0	0	162
山梨市	—	7		—	7		—	—	—	0	0	53
大月市	2	33			35	12	—			12		281
韭崎	0	17		—	17	0	—			0	0	143
市計	3	199	0	0	202	34	0	0	0	34	0	1,115
東山梨郡計	0	200	0	0	200	19	0	0	0	19	0	332
春日居町	—	—	—	—	0	—	—	—	—	0	0	14
牧丘町	0	49		—	49		—	—		0	0	102
三富町		118	0	—	118	8	—	—	0	8	—	136
勝沼町	—	2	—	—	2	7	—			7	0	37
大和町	—	31	—	—	31	4	—	—	—	4	0	43
東八代郡計	5	75	0	0	80	2	0	0	0	2	0	221
石和町	—	—	—	—	0	—	—	—	—	0	0	15
御沢町	1	32	—	—	33	0	—	—	—	0	0	58
一宮町		9	—	—	9	2	—	—	—	2		30
八代町		10	—	—	10		—	—	—	0	—	25
境川村	2	5	0		7	0	—	—	—	0	—	21
中道町	1	0	—	—	1	0	—	—	—	0	0	21
芦川村	1	19	—	—	20	0	—	—	—	0	0	37
豊富村	0		—	—	0		—	—	—	0	0	14
西八代郡計	3	5	2	0	10	0	0	0	0	0	0	293
上九一色村	2	2	0	—	4	0	—	—	—	0	0	86
三珠町	1	0	1	—	2	0	—	—	—	0	0	29
市川大門町			0	—	0		—	—	—	0	0	33
六郷町		—	—	—	0	0	—	—	—	0	0	14
下部町		3	1		4	0	—	—	—	0	0	131
南巨摩郡計	11	16	3	0	30	0	0	0	0	0	0	856
増穂町	0	1	—	—	1	0	—	—	—	0	0	65
畷沢町		0	0	—	0	0	0	—	0	0	0	47
中富町		0	—	—	0	0	—	—	—	0	0	43
早川町	6	0	1	—	7	0	0	0	0	0	0	370
身延町	0	6	0	—	6	0	—	0	0	0	0	131
南部町	5	9	2	0	16	0	—	—	0	0	0	112
富沢町	0	0	—	—	0	0	—	—	0	0	0	88
中巨摩郡計	5	9	1	0	15	6	0	5	0	11	0	345
竜王町	—	—	—	—	0	0	—	0	—	0	0	13
敷島町	—	4	—	—	4	0	—	—	0	0	0	40

(単位 Km²)

表層地質 市町村名	未固結堆積物						固結堆積物							
	礫	砂	(泥炭を含む) 泥	左各記 岩互 石の 層	碎 屑 物	計	礫 岩	砂 岩	泥 (頁岩・ 粘板岩) 岩	珪 岩 質 岩 石	左の 記各 互 石層	輝 緑 凝 灰 岩	石 灰 岩	計
玉穂町	0	7	0	1	—	8	0	0	0	—	0	—	—	0
昭和町	0	1	0	8	—	9	0	—	—	0	—	—	—	0
田富町	0	7	0	3	—	10	0	—	—	0	—	—	—	0
八田村	4	0	1	3	—	8	0	—	—	0	—	—	—	0
白根町	15	0	0	6	—	21	0	—	2	—	0	—	—	2
芦安村	2	0	0	0	6	8	0	—	16	—	87	0	0	103
若草町	0	0	0	11	—	11	—	—	—	—	0	—	—	0
櫛形町	3	0	0	10	2	15	0	0	0	—	0	—	—	0
甲西町	3	0	2	8	0	13	0	0	0	—	0	—	—	0
北巨摩郡部計	31	3	0	18	29	81	0	4	14	0	47	1	0	66
双葉町	3	0	0	1	0	4	—	—	0	—	0	—	—	0
明野村	0	0	—	5	2	7	0	—	—	—	0	—	—	0
須玉町	15	0	0	2	6	23	0	4	0	0	17	1	0	22
高根町	3	0	0	0	5	8	0	0	0	0	2	0	0	2
長坂町	0	0	0	0	6	6	0	—	—	—	0	—	—	0
大泉村	0	—	0	0	0	0	0	—	—	—	0	—	—	0
小淵沢町	1	—	0	0	1	2	0	—	0	—	0	—	0	0
白州町	6	—	—	9	6	21	0	0	2	0	25	—	0	27
武川村	3	3	—	1	3	10	0	0	12	0	3	—	0	15
南都留郡部計	10	0	0	2	9	21	15	1	0	0	0	0	0	16
秋山村	4	0	0	0	0	4	0	0	0	0	—	—	—	0
道志村	6	0	0	0	1	7	0	0	0	—	0	—	—	0
西桂町	0	0	0	0	0	0	3	1	0	—	0	—	—	4
忍野村	0	0	0	0	2	2	0	0	0	—	0	—	—	0
山中湖村	0	0	0	0	2	2	0	0	0	—	0	—	—	0
河口湖町	0	0	0	2	0	2	4	0	0	0	0	—	0	4
勝山村	0	0	—	0	0	0	0	0	0	—	0	—	—	0
足和田村	0	0	0	0	3	3	4	0	0	0	0	—	—	4
鳴沢村	0	0	0	0	1	1	4	0	0	—	0	—	—	4
北都留郡部計	6	0	0	0	5	11	9	49	23	2	135	2	1	221
上野原町	6	0	0	0	2	8	9	22	23	1	31	1	—	87
小菅村	0	0	0	0	1	1	0	9	0	0	36	0	—	45
丹波山村	0	0	0	0	2	2	0	18	0	1	68	1	1	89
町村計	173	33	4	128	106	444	116	115	230	4	557	6	1	1029
県計	255	53	14	159	156	637	132	151	320	5	631	8	1	1248

(単位 Km²)

表層地質 市町村名	火山性岩石										
	火山灰砂	火山碎屑物	軽石	シラス	ロム	凝灰角礫岩 集塊岩および	凝灰岩質岩石	流紋岩質岩石	安山岩質岩石	玄武岩質岩石	計
玉穂町		—	—	—		—	—	—	—	—	0
昭和田		—	—	—		—	—	—	—	—	0
田富村		—	—	—		—	—	—	—	—	0
八白根		0	0	—		0	—	—	—	—	0
芦安村	0	0	0	—		0		0	16	0	16
若草町	0	—	0	—		0	—	0	15	0	15
櫛形町	0	0	0	—	3	0	0	—	—	—	0
甲西町	0	0	—	—	1	0	0	0	25	0	28
									2	0	3
北巨摩郡部計	27	156	0	0	43	29	0	0	69	0	324
双葉町	0	11	0	—	4		0	—	0	—	15
明野村	0	12	0	—	9	1		—	0	0	22
須玉町	0	29	0	—	5	26		0	25	0	85
高根町	9	31	0	—	8	2		0	5	0	55
長坂町	5	17	0		10			0	5	0	37
大泉町	6	30	0			0		0	27	0	63
小白洲	7	20	0		1	0		0	4	0	32
武州町	0	3	0	—	3			0	0	0	6
武川村	0	3	0	—	3		0	0	3	0	9
南都留郡部計	50	38	0	0	3	0	22	7	96	106	322
秋山村	0	0	—	—	2	0	8	0	27	0	37
道志村	0	0	0	—	1	0	0	0	47	0	48
西桂町	2	0	—	—	0	0	2	0	5	3	12
忍野村	13	0	0	—	0	0	0	0	2	5	20
山中湖	28	5	0	—	0	0	0	0	0	10	43
河口湖	7	2	0	—	0	0	7	7	12	20	55
勝山村	0	0		—	0	0	0	0	0	4	4
足和田	0	0		—	0	0	5	0	3	10	18
鳴沢村	0	31		—	0	0	0	0	0	54	85
北都留郡部計	0	0	0	0	13	3	15	0	2	0	33
上野原	0	0		—	8	3	15	0	2	0	28
小菅村	0	0	—	—	4	—	—	0	0	—	4
丹波山村	0	0	0	—	1	0	0	0	0	—	1
町村計	77	221	0	0	77	172	82	27	399	246	1302
県計	95	296	0	0	115	243	113	30	587	289	1769

(単位 Km²)

表 層 地 質 市 町 村 名	深 成 岩					変 成 岩					圧 砕 岩	合 計	備 考
	斑 岩 及 び 玢 岩	花 崗 岩 質 岩 石	斑 礫 岩 質 岩 石	蛇 紋 岩 質 岩 石	計	ホ ル ン フ エ ル ス	緑 色 片 岩	黒 色 片 岩	そ の 他 の 片 岩	計			
玉 穂 町	-	-	-	-	0	-	-	-	-	0	0	8	
昭 和 町	-	-	-	-	0	-	-	-	-	0	0	9	
田 富 町	-	-	-	-	0	-	-	-	-	0	0	10	
八 田 村	-	-	-	-	0	-	-	-	-	0	0	8	
白 根 町	0	0	-	-	0	0	-	-	-	0	0	39	
芦 安 村	5	5	1	-	11	6	0	5	0	11	0	148	
若 草 町	-	-	-	-	0	-	-	-	-	0	0	11	
櫛 形 町	0	0	-	-	0	0	-	-	-	0	0	43	
中 西 町	0	0	-	-	0	0	-	-	-	0	0	16	
北巨摩郡部計	0	132	1	0	133	18	0	0	0	18	0	622	
双 葉 町	-	-	-	-	0	-	-	-	-	0	0	19	
明 野 村	-	0	-	-	0	-	-	-	0	0	0	29	
須 玉 町	0	42	0	-	42	2	0	0	0	2	0	174	
高 根 町	0	0	-	-	0	0	-	0	0	0	0	65	
長 坂 町	-	0	0	-	0	0	-	-	0	0	0	43	
大 泉 町	-	0	-	-	0	0	-	-	0	0	0	63	
小 淵 沢 町	-	-	-	-	0	0	-	0	0	0	0	34	
白 州 町	0	69	1	0	70	11	-	0	0	11	0	135	
武 川 村	0	21	0	0	21	5	-	0	0	5	0	60	
南都留郡部計	7	35	1	0	43	0	0	0	0	0	0	402	
秋 山 村	0	4	0	0	4	0	0	-	-	0	0	45	
道 志 村	2	21	1	0	24	0	0	-	-	0	0	79	
西 桂 町	0	0	-	-	0	0	-	-	-	0	0	16	
忍 野 村	0	3	0	-	3	0	-	-	0	0	0	25	
山 中 湖 村	0	7	0	-	7	0	-	-	-	0	0	52	
河 口 湖 町	2	0	0	0	2	0	-	-	0	0	0	63	
勝 山 村	0	-	-	0	0	-	-	-	-	0	0	4	
足 和 田 村	3	0	0	0	3	0	-	-	-	0	0	28	
鳴 沢 村	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0	90	
北都留郡部計	0	8	0	0	8	4	0	0	0	4	0	277	
上 野 原 町	0	1	-	0	1	0	-	0	0	0	0	124	
小 菅 村	0	2	0	-	2	0	-	0	0	0	0	52	
丹 波 山 村	0	5	0	0	5	4	-	0	0	4	0	101	
町 村 計	31	480	8	0	519	49	0	5	0	54	0	3348	
県 計	34	679	8	0	721	83	0	5	0	88	0	4463	

2.5 土壤統群分布面積市町村別内訳

土 壤 統 群 市 町 村	岩 石 地	岩 屑 土				粗未 粒 火熱 山 拋土 出 物壤	黒 ボ ク 土					褐色森林土				
		高 山 岩 屑 性 壤	岩 屑 性 土 壤 (1)	岩 屑 性 土 壤 (2)	計		厚 土 層 黒 ボ ク 壤	黒 ボ ク 土 壤	粗 土 粒 黒 ボ ク 壤	多 土 湿 黒 ボ ク 壤	淡 土 色 黒 ボ ク 壤	計	乾 森 性 林 土 褐 色 壤	褐 土 色 森 林 壤	褐 壤 色 (暗 色 森 林 土 系)	計
甲 府 市	2	4			4		4				4	44	45	4	93	
富士吉田市		14		11	25	5	6				6	3	36	13	52	
塩 山 市			6		6		4	16			3	23	39	71	8	118
都 留 市			6		6			8			8	38	90		128	
山 梨 市								1			2	3	9	12	21	
大 月 市			3		3			7			7	92	137		229	
韭 崎 市			7		7			3			11	14	21	33	10	64
市 部 計	2	18	22	11	51	5	4	45			16	65	246	424	35	705
春 日 居 町													4	3		7
牧 丘 町	2		1		1			7			7	15	48	9	72	
三 富 村	2		8		8			6			6	9	43	30	82	
勝 沼 町											4	4	9	12	21	
大 和 町								1			1	10	30		40	
石 和 町													1		1	
御 坂 町							1				2	3	16	25	41	
一 宮 町								1			3	4	5	8	13	
八 代 町								1			1	2	5	8	13	
境 川 村								1			1	2	5	7	12	
中 道 町											2	2	4	6	10	
芦 川 村			1		1			1			1	12	18		30	
豊 富 村											2	2	2	3	5	
上 九 一 色 村			4	13	17		2	11	2		15	7	35		42	
三 珠 町			4		4			1			1	9	11		20	
市 川 大 門 町								2			2	7	9		16	
六 郷 町												2	4		6	
下 部 町			19		19							40	50		90	
増 穂 町								1			1	14	25	10	49	
鰍 沢 町			3		3							6	28		34	
中 富 町												4	19		23	
早 川 町	12		55		55							44	114	67	225	
身 延 町			5		5			1			1	29	71		100	
南 部 町			11		11			1			1	34	53		87	
富 沢 町	1		3		3			5			5	18	53		71	
竜 王 町																
敷 島 町			1		1							10	16		26	
玉 穂 村																

(単位Km²)

ポドゾル			赤黄色土			灰色低地土				グライ土			その他	合計	備考
乾性ポソド壤	湿性ポソド壤	計	黄色土壌	暗赤色土壌	計	細粒地灰土色壤	灰地色土低壤	粗粒地灰土色壤	計	グライ土壌	粗粒グライ壤	計			
6	2	8		2	2	2	4	6	12	1	6	7		132	
							2	3	5					93	
5		5		2	2		5		5					159	
						2	1		3					145	
				5	5	4	1	4	9					38	
				2	2		1	1	2					243	
7	2	9		5	5	6	6	3	15					114	
18	4	22		16	16	14	20	17	51	1	6	7		924	
				2	2	1		1	2					11	
7	2	9		2	2	1			1					94	
17	12	29												127	
				3	3	1		1	2					30	
						2	1	2	5		3	3		41	
				1	1	4		2	6					9	
							3	3	6					51	
						2	3		6					23	
				2	2	2			5					20	
				3	3				2					18	
											2	2		17	
				2	2					1		1		32	
													1	10	
				2	2					1		1		74	
						3				1		1		28	
			3		3					1	1	2		23	
			3		3					1		1		10	
			4		4		1		1					114	
							5		5	1		1		56	
				1	1		2		2					40	
				3	3		2		2					28	
				2	2									294	
				2	2		1	1	2					110	
				1	1		1	1	2					102	
				1	1			1	1					82	
				1	1		3	2	5					6	
				2	2	2	2		4					33	
								1	1	2	2	4		5	

土 壤 統 群 市 町 村	岩 石 地	岩 屑 土				粗未 粒 火 山 拋 土 出 物	黒 ボ ク 土					褐色 森林 土				計		
		高 山 岩 屑 性 壤	岩 土 屑 壤 性(1)	岩 土 屑 壤 性(2)	計		厚 土 層 黒 ボ ク 壤	黒 ボ ク 土 壤	粗 土 粒 黒 ボ ク 壤	多 土 湿 黒 ボ ク 壤	淡 土 色 黒 ボ ク 壤	計	乾 性 森 林 土 色 壤	褐 土 色 森 林 壤	褐 色 森 林 土 (暗 色 系)			
																	計	計
昭 和 町																		
田 富 町																		
八 田 村																		
白 根 町			1		1			1				1	3	12	2		17	
芦 安 村	3	3	29		32			2				2	6	17	16		39	
若 草 町				1	1			1				1	6	20	1		27	
楠 形 町													1	2			3	
甲 西 町													3	2			5	
双 葉 村							1	5				6	4	6			10	
明 野 町							1	16				3	20	37	56	10	103	
須 玉 町	6		5		5		17	17				10	44	2	3		5	
高 根 町							2	9				9	20		3		3	
長 坂 町	1																	
大 泉 村	7						6	28				2	36			8	8	
小 淵 沢 町							6	14					20		1		1	
白 州 町	6		16		16		1	3				4	17	41	25		83	
武 川 村			9		9			2				2	9	17	8		34	
秋 山 村								2				2	13	27			40	
道 志 村			2		2	2		1				1	13	51			64	
西 桂 村								2				2	2	8			10	
忍 野 村				4	4			1	1	3		5	2	6			8	
山 中 湖 村				2	2	18		4	1			5	2	4			6	
河 口 湖 村				4	4			5	4			9	9	30			39	
勝 山 村									1			1		2			2	
足 和 田 村	2		3	5	8			1				1	3	8			11	
鳴 沢 村		7		21	28			4	1			5	1	27	20		48	
上 野 原 町			5		5			12				12	31	62			93	
小 菅 村			10		10			4				4	16	19			35	
丹 波 山 村			22		22			2				2	21	37	8		66	
町 村 計	42	10	218	49	277	20	37	176	10	3	39	265	521	1161	214	1896		
県 計	44	28	240	60	328	25	41	221	10	3	55	330	767	1585	249	2601		

(単位 Km²)

ポドゾル			赤黄色土			灰色低地土				グライ土			その他	合計	備考
乾ソ 性ル ボ土 ト壤	湿ソ 性ル ボ土 ト壤	計	黄 色 土 壤	暗 赤 色 土 壤	計	細低 粒地 灰土 色壤	灰地 色土 低壤	粗低 粒地 灰土 色壤	計	グ ラ イ 土 壤	粗土 粒 グ ラ イ 壤	計			
								2	2	1	2	3		5	
								1	1	1	2	3		4	
				1	1			3	3					4	
							4	9	13					32	
								2	1	3				76	
				1	1	1	2	1	3	1	2	3		6	
							5	3	9					39	
							5	2	7	1		1		11	
				3	3	3			3					11	
				1	1	3			3					20	
				1	1		5	1	6					141	
														49	
1	1	2												26	
4	1	5												56	
1	1	2												23	
12	3	15						3	3					127	
3	4	7					2	2	4					56	
														42	
								1	1					70	
							1		1					13	
														17	
														31	
														52	
														3	
														22	
														81	
														110	
														49	
3	3	6												96	
48	27	75	20	27	47	22	48	43	113	11	14	25		2760	
66	31	97	20	43	63	36	68	60	164	12	20	32		3684	

3 土地利用可能性分級

3.1 土地利用可能性分級別面積市町村別内訳

(単位Km²)

市町村	1 類地	2 類地	3 類地	4 類地	5 類地	6 類地	7 類地	8 類地	合計	備考
甲府市	20	—	7	47	66	11	1	19	171	
富士吉田市	—	—	47	21	33	8	11	—	120	
塩山市	2	2	26	69	74	3	—	9	185	
都留市	—	—	8	99	54	1	—	—	162	
山梨市	4	7	12	13	9	3	—	5	53	
大月市	—	—	6	129	136	6	—	4	281	
韭崎市	10	—	39	41	30	18	—	5	143	
計	36	9	145	419	402	50	12	42	1,115	
春日居町	2	—	3	3	3	2	—	1	14	
牧丘町	—	—	8	41	33	17	3	—	102	
三富村	—	—	—	35	41	55	5	—	136	
勝沼町	2	5	5	13	9	—	—	3	37	
大和村	—	—	3	20	18	2	—	—	43	
計	4	5	19	112	104	76	8	4	332	
石和町	2	1	—	8	1	—	—	2	14	
御坂町	1	5	6	27	18	1	—	—	58	
一宮町	3	5	3	10	8	—	—	1	30	
八代町	5	1	8	5	6	—	—	—	25	
境川村	1	2	7	8	3	—	—	—	21	
中道町	—	3	5	4	8	—	—	1	21	
芦川村	—	—	—	20	15	2	—	—	37	
豊富村	—	2	4	4	3	—	—	1	14	
計	12	19	33	86	62	3	—	5	220	
上九一色村	—	—	19	25	40	—	—	3	87	
三珠町	—	1	5	9	13	—	—	1	29	
市川大門町	—	—	3	20	8	—	—	2	33	
六郷町	—	1	3	9	1	—	—	—	14	
下部町	—	—	6	54	56	8	3	4	131	
計	—	2	36	117	118	8	3	10	294	
増穂町	5	—	—	28	18	11	3	—	65	
鯨沢町	—	—	—	22	20	3	—	2	47	
中富町	—	—	6	20	13	—	—	4	43	
早川町	—	—	—	41	181	94	54	—	370	
身延町	—	5	7	55	52	—	3	9	131	
南部町	—	2	8	31	61	—	6	4	112	
富沢町	—	2	8	40	35	—	2	1	88	
計	5	9	29	237	380	108	68	20	856	
竜王町	6	—	2	5	—	—	—	—	13	
敷島町	2	—	6	14	18	—	—	—	40	
玉穂村	1	—	—	6	—	—	—	1	8	
昭和町	—	—	—	9	—	—	—	—	9	

(単位Km²)

市町村		土地利用可能性 分級								合 計	備 考
		1 類地	2 類地	3 類地	4 類地	5 類地	6 類地	7 類地	8 類地		
田 富 町		1	—	—	7	—	—	—	2	10	
八 田 村		—	—	2	5	—	—	—	1	8	
白 根 町		5	—	1	22	7	2	—	2	39	
芦 安 村		—	—	—	—	38	95	15	—	148	
若 草 町		3	—	1	5	—	—	—	2	11	
櫛 形 町		4	—	4	22	11	2	—	—	43	
甲 西 町		5	—	2	6	2	0	—	1	16	
	計	27	—	18	101	76	99	15	9	345	
双 葉 町		3	—	13	1	2	—	—	—	19	
明 野 村		—	—	6	18	5	—	—	—	29	
須 玉 町		—	—	31	56	66	21	—	—	174	
高 根 町		—	—	48	10	7	—	—	—	65	
長 坂 町		—	—	23	17	1	2	—	—	43	
大 泉 村		—	—	9	29	14	11	—	—	63	
小 淵 沢 町		—	—	7	24	1	2	—	—	34	
白 州 町		—	—	10	41	22	54	8	—	135	
武 川 村		—	—	12	13	16	18	1	—	60	
	計	3	—	159	209	134	108	9	—	622	
秋 山 村		—	—	—	27	18	—	—	—	45	
道 志 村		—	—	6	47	26	—	—	—	79	
西 桂 町		—	—	—	11	4	1	—	—	16	
忍 野 村		—	—	8	9	8	—	—	—	25	
山 中 湖 村		—	—	7	9	30	—	—	6	52	
河 口 湖 町		—	—	11	24	20	3	—	5	63	
勝 山 村		—	—	3	—	1	—	—	—	4	
足 和 田 村		—	—	1	11	12	1	—	3	28	
鳴 沢 村		—	—	30	4	48	1	7	—	90	
	計	—	—	66	142	167	6	7	14	402	
上 野 原 町		—	4	17	54	49	—	—	—	124	
小 菅 村		—	—	—	20	20	12	—	—	52	
丹 波 山 村		—	—	—	16	73	10	2	—	101	
	計	—	4	17	90	142	22	2	—	277	
市 計		36	9	145	419	402	50	12	42	1,115	
郡 計		51	39	377	1,094	1,183	430	112	62	3,348	
県 計		87	48	522	1,513	1,585	480	124	104	4,463	

3.2.1 土地利用可能性分級と地形区分との関連

(単位Km²)

地形区分		土地利用可能性分級	1 類地	2 類地	3 類地	4 類地	5 類地	6 類地	7 類地	8 類地	合 計	
			山地・火山地	山地	大起伏	—	—	10	536	860	429	102
中起伏	—	—			17	300	298	23	2	—	640	
小起伏	—	1			23	142	67	—	—	—	233	
山麓地	—	4			24	40	12	1	—	—	81	
小計	—	5			74	1,018	1,237	458	104	—	2,891	
火山地	大起伏	—		—	3	8	70	15	19	—	115	
	中起伏	—		—	51	80	84	2	—	—	217	
	小起伏	—		—	122	53	54	—	—	—	229	
	火山麓	2		—	134	93	54	6	—	—	289	
	小計	2		—	310	234	262	23	19	—	850	
計		2		5	384	1,252	1,499	476	123	—	3,741	
丘陵地	非性火山陵	大起伏		—	7	8	—	—	—	—	—	15
		小起伏		—	—	7	2	1	—	—	—	10
	計			—	7	15	2	1	—	—	—	25
台地・段丘	砂礫台地	上位面	—	—	3	8	—	—	—	—	11	
		中位面	—	9	16	20	1	2	—	—	48	
		下位面	—	0	14	21	—	—	—	—	35	
		小計	—	9	33	49	1	2	—	—	94	
	岩石台地	上位面	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		中位面	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		下位面	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		小計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	ローム台地	上位面	—	—	14	16	1	—	—	—	31	
		中位面	—	1	13	1	1	2	—	—	18	
		下位面	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		小計	—	1	27	17	2	2	—	—	49	
	計		—	10	60	66	3	4	—	—	143	
低地	扇状地性	三角州性	71	24	44	172	54	—	—	10	375	
		自然堤防砂洲	14	2	7	16	13	—	—	9	61	
		計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	計		85	26	51	188	67	—	—	19	436	
その他(註)		—	—	12	5	15	—	1	85	118		
合計		87	48	522	1,513	1,585	480	124	104	4,463		

(註) その他とは、地形分類図上の河床のうち、未分類の部分を示す。扇状地性低地よりやや粗大な礫からなる部分が多い。

3.2.2 土地利用可能性分級と傾斜区分との関連

(単位Km²)

傾斜 \ 土地利用可能性分級	1 類地	2 類地	3 類地	4 類地	5 類地	6 類地	7 類地	8 類地 (未区分地)	合 計
0° ~ 3° (S ₁)	87	16	39	94	13	5	—	83	337
3° ~ 8° (S ₂)	—	32	238	139	67	5	—	5	486
8° ~ 15° (S ₃)	—	—	245	47	94	89	—	11	486
15° ~ 30° (S ₄)	—	—	—	1,233	818	228	17	5	2,301
30° ~ 40° (S ₅)	—	—	—	—	593	153	7	—	753
40° ~ (S ₆)	—	—	—	—	—	—	100	—	100
合 計	87	48	522	1,513	1,585	480	124	104	4,463

3.2.3 土地利用可能性分級と標高区分との関連

(単位Km²)

標高区分 \ 土地利用可能性分級	1 類地	2 類地	3 類地	4 類地	5 類地	6 類地	7 類地	8 類地 (未区分地)	合 計
低 暖 地 帯 (H ₁)	87	46	136	190	5	8	—	86	558
山 間 地 帯 (H ₂)	—	2	386	1,323	1,466	34	32	18	3,261
高 冷 地 帯 (H ₃)	—	—	—	—	114	438	92	—	644
生産限界外地帯 (H ₄)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	87	48	522	1,513	1,585	480	124	104	4,463

3.2.4 土地利用可能性分級と土壌生産力可能性との関連

(単位Km²)

土壌生産力可能性等級区分 \ 土地利用可能性分級	1 類地	2 類地	3 類地	4 類地	5 類地	6 類地	7 類地	8 類地 (未区分地)	合 計
はなはだよい (P ₁)	87	20	28	6	1	—	—	1	143
ややよい (P ₂)	—	28	385	1,083	288	15	12	—	1,811
やや劣る (P ₃)	—	—	109	275	168	141	18	—	711
劣る (P ₄)	—	—	—	149	1,128	103	44	—	1,424
はなはだ劣る (P ₅)	—	—	—	—	—	221	32	—	253
(P ₀)	—	—	—	—	—	—	18	22	40
未 区 分 地	—	—	—	—	—	—	—	81	81
合 計	87	48	522	1,513	1,513	480	124	104	4,463

3.3 土地利用可能性分級別主要地域の概要

土地利用可能性 分級		1 類 地	2 類 地	3 類 地	4 類 地		
地域の概要							
地域名(団地名)		甲府盆地地域	笛吹川下流地域	八ヶ岳、茅ヶ岳山麓地域 富士山麓地域	巨摩山地地域 道志山地地域		
地形	傾斜 (谷密度)	S ₁ (0~6)	S ₂ (2~14)	S ₃ (8~16)	S ₅ (15~20)		
	標高 (植栽限界)	280	320	800	800		
表層地質		砂、礫、泥 軟 沖積世	砂礫泥 花崗岩質 岩石 軟 硬 沖積世 新第三紀	火山碎屑物 玄武岩 質岩石 軟 硬 洪積世	安山岩質岩石 中 新 第 三 紀		
土壌	農地	田	土壤統群 生産力可能性分級	細粒灰色低地土 壤 灰色低地土 壤 I	—	厚層黒ボク土 壤 II	—
		畑	土壤統群 生産力可能性分級	細粒灰色低地土 壤 I	淡色黒ボク土 壤 III	淡色黒ボク土 壤 II 厚層黒ボク土 壤 II	粗粒灰色低地土 壤 IV 黒ボク土 壤 III
	草地		—	—	—	—	
	林地	土壤統群 地位級	—	—	褐色森林土 壤 II 厚層黒ボク土 壤 II 淡色黒ボク土 壤 II	褐色森林土 壤 II 黒ボク土 壤 III	
水利用	地表水 地下水 天	○ ○ ×	○ △ ×	○ ○ ×	○ △ ×		
気候区分		東山	東山	東山	東山		
面積	土地利用可能性類 地別面積県内合計 Km ² (A)		87	48	522	1,513	
	当概地域の類地別 面積県内合計 (B)		27	31	291	386	
	% (B/A)		31	64	56	26	

5 類 地	6 類 地	7 類 地	8 類 地 (未区分地)	備 考
天子山地域 丹波山地地域	笛吹川上流地域 赤石山地地域	富士山麓地域 赤石山地地域	甲府盆地地域	
S ₅ ~ S ₆ (5~11)	S ₆ (10~20)	S ₆ ~ S ₇ (8~25)	S ₁ (1~6)	
1,000~1,200	1,500	2,000	285	
砂岩、泥岩(頁岩、粘板岩)礫岩の互層 硬 中 中生代 古第三紀 新第三紀	花崗岩質 岩 石 硬 中 (新第三紀) 砂岩、泥岩(頁岩、粘板岩)の互層 硬 中 中生代~ 古第三紀	火山砕屑物 硬 中 洪積世 砂岩、泥岩(頁岩、粘板岩)の互層 硬 中 中生代~ 古第三紀	花崗岩質岩 石 硬 中 新第三紀 集塊岩および凝灰角礫岩 硬 中 新第三紀	各類地内で主要なものを2区分した ()内は議論あり
-	-	-	-	
-	-	-	-	
-	-	-	-	
黒ボク土壌 III 褐色森林土壌(暗色系) III 乾性褐色森林土壌 IV 岩屑性土壌 IV	褐色森林土壌(暗色系) III 岩屑性土壌 IV 乾性ポドゾル土壌 V 湿性ポドゾル土壌 V	岩石地 V 高山岩屑性土壌 V	-	
○ △ △	○ △ ×	○ △ ×	○ ○ ×	○利用 △若干利用 ×利用せず
東 山	東 山	東 山	東 山	
1,585 504 32	480 266 48	124 87 70	104 22 21	計 4463

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況													備 考			
			水 田		畑				草 地		林 地				空その他				
	面 積 Km ²	土 占 利 用 率	平 均 収 率	普 通 畑		樹 園 地		土 占 利 用 率	草 地 の 種 類	人 工 林		天 然 林		土 占 利 用 率					
				土 占 利 用 率	主 要 作 物 の 平 均 収 量	土 占 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率			土 占 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率	土 占 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率						
甲府市	1	1.1.1	20	B	水稻														
	2																		
	3	1.1.3 1.3.2 1.3.3 2.3.2	7	C	水稻 120						D	アカマツ 110	C	広 110					
	4	1.1.4 2.3.3 1.2.4 2.4.2 1.3.4 2.4.3 1.4.2 2.2.3	47								D	100	C	100					
	5	2.3.4 2.4.4 2.5.2 2.5.4	66								D	90	C	90					
	6	3.4.2 3.4.4	11								D	80	C	80					
	7		1																
	8		19																
市町村計			171																

富士吉田市	1																		
	2																		
	3	2.2.2	47	D	水稻 90	D	ともろこし 100				C	カラマツ 90	D	針 80					
	4	2.2.3	21								C	80	D	80					
	5	3.3.2 3.3.3 3.4.2 3.4.3	33								C	70	D	70					
	6	3.4.5	8										D	60					
	7	3.4.6	11																
	8																		
市町村計			120																

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況													備 考		
			水 田		畑				草 地		林 地			空その他				
	お含さ れ び る 式	面 積 Km ²	土 占 有 率	平 均 収 率	普 通 畑		樹 園 地		土 占 有 率	草 地 の 種 類	土 占 有 率	人 工 林		天 然 林			土 占 有 率	
土 占 有 率					主 要 作 物 の 平 均 収 量	土 占 有 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率	土 占 有 率				主 要 樹 種 の 平 均 収 率	土 占 有 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率				
塩 山 市	1	1.1.1	2				A	も も 110										
	2	1.1.2	2				A	も も 110										
	3	2.2.2 2.3.2 2.1.2	26				D	ぶ ど う 110				D	カ ラ マ ツ 110	C	広 110			
		2.4.2 2.4.3	73									D	100	C	100			
	5	2.2.4 2.3.4 2.4.4 3.4.3	70									D	90	C	90			
		6	3.4.4	3								D	80	C	80			
	7																	
	8		9															
市 町 村 計		185																

都 留 市	1																
	2																
	3	2.3.2	8	C	水 稻 90							C	ス ギ 110				
		2.3.3 2.4.2 2.4.3	99									C	100	C	広 100		
	5	2.3.4 2.4.4 2.5.2 2.5.3 2.5.4	54									C	90	C	90		
		6	3.4.3	1													
	7																
	8																
市 町 村 計		162															

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考	
			水 田		畑				草 地		林 地				空
	面 積 Km ²	土 地 利 用 率	平 均 収 率	土 地 利 用 率	主 要 作 物 の 平 均 収 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率	土 地 利 用 率	草 の 種 類 の 平 均 収 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率		土 地 利 用 率
山梨市	1	1.1.1.	4				C	ぶどう 110							
	2	1.1.2	7				A	ぶどう110 もも110							
	3	2.2.2 1.2.3 1.3.2	12				C	もも100				C	広 110		
	4	2.4.2 2.4.3	13								D	アカマツ 100	C	100	
	5	2.2.4 2.4.4 2.5.2	9								D	90	C	90	
	6		3												
	7														
	8		5												
市町村計		53													

大月市	1														
	2														
	3	2.3.2 1.3.3	6	B	水稲 80						D	スギ 110	B	広 110	
	4	1.4.2 1.4.4 2.3.3 2.4.2 2.4.3	129								D	100	B	100	
	5	2.4.4 2.5.2 2.5.4 3.4.2 3.4.3	136								D	90	B	90	
	6	3.4.4 3.5.4	6										B	80	
	7														
	8		4												
市町村計		281													

3-4 土地利用可能性分類別市町村別内訳

市町村名	類地区区分		土 地 利 用 の 現 況													備 考		
			水 田		畑				草 地		林 地			空その他				
	面 積 km ²	土 占 利 用 率	平 均 収 率	普 通 畑		樹 園 地		土 占 利 用 率	草 占 利 用 率	お お お の び 類 均 率	人 工 林		天 然 林		土 占 利 用 率			
				土 占 利 用 率	主 要 作 物 お お お の び 均 率	土 占 利 用 率	主 要 樹 種 お お お の び 均 率				主 要 樹 種 お お お の び 均 率	主 要 樹 種 お お お の び 均 率	土 占 利 用 率	主 要 樹 種 お お お の び 均 率				
市 崎 市	1	1.1.1	10	B	水 稻 110													
	2																	
	3	2.2.2 2.3.2 1.1.3	39	D	水 稻 100		D	桑 100							広 110			
	4	2.4.2 2.4.3	41									D	ア ス バ ラ 100	C	100			
	5	2.2.4 2.3.4 2.4.4 2.5.2 2.5.4 3.4.3	30												C	90		
	6	3.5.3 3.5.4	18												C	80		
	7																	
	8		5															
市 町 村 計		143																

市 春 日 居 町	1	1.1.1	2															
	2																	
	3	1.3.2	3															
	4	2.4.2	3										D	ア カ マ ツ 100	C	広 100		
	5	2.4.4	3												C	90		
	6		2															
	7																	
	8		1															
市 町 村 計		14																

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区区分		土地利用の現況											備考		
			水田		畑				草地		林地				その他	
	お含さ性 地区びる式	面積 Km ²	土占有 率	平獲 均量 収率	土占有 率	主 要 作 物 よ び 率	土占有 率	主 要 樹 種 よ び 率	土占有 率	草 の 種 類 よ び 率	土占有 率	主 要 樹 種 よ び 率	土占有 率		主 要 樹 種 よ び 率	土占有 率
牧 丘 町	1															
	2															
	3	2.3 2	8	D	水 稻 80								C	広 110		
	4	2.4 2 2.4 3	41				D	桑 90				C	カラマツ 100	C	針 100	
	5	2.3 4 2.4 4 2.4 2 3.4 3	33									C	90	C	針 90	
	6	3.4 4	17											C	80	
	7		3													
	8															
市町村計		102														

三 富 村	1															
	2															
	3															
	4	2.4 2 2.4 3	35									D	カラマツ 100	B	広 100	
	5	2.4 4 2.5 2 2.5 3 2.5 4 3.4 3	41									D	90	B	90	
	6	3.5 2 3.5 4	55									D	80	B	80	
	7		5													
	8															
市町村計		136														

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区区分		土 地 利 用 の 現 況													備 考
			水 田		畑				草 地		林 地			空その他		
	お含さ 地区よ びる式 分	面 積 Km ²	土 地 利 用 率	平 均 収 率	普 通		樹 園 地		土 地 利 用 率	草 地 の 種 類	人 工 林		天 然 林		土 地 利 用 率	
					土 地 利 用 率	主 要 作 物 の 平 均 収 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率			土 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率		
勝 沼 町	1	1.1.1	2				A	ぶどう 120								
	2	1.1.2	5				A	ぶどう 110								
	3	2.3.2	5													
	4	2.4.2	13							D	ヒノキ 100	C	広 100			
	5		9									C	90			
	6															
	7															
	8		3													
市町村計			37													

大 和 町	1															
	2															
	3	2.3.2	3							D	ヒノキ 110	B	広 100			
	4	2.4.2	20							D	100	B	100			
	5	2.3.4 2.4.4	18									B	90			
	6	3.4.4	2									B	80			
	7															
	8															
市町村計			43													

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考		
			水 田		畑				草 地		林 地				空その他	
	お含さ よさ びる 式 分	面 積	土 占 地 利 用 率	平 均 収 率	普 通 畑		樹 園 地		土 占 地 利 用 率	草 取 地 の 種 類 均 率	人 工 林		天 然 林		土 占 地 利 用 率	
					土 占 地 利 用 率	主 要 作 物 の 平 均 収 率	土 占 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率			土 占 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率	土 占 地 利 用 率			主 要 樹 種 の 平 均 収 率
石 和 町	1	1.1.1	2					B	ぶどう 110							
	2	1.1.2	1													
	3															
	4	2.4.2 1.1.4	8					C	ぶどう 110 りんご 100		D	100	D	広 100		
	5	2.4.4	1								D	90	D	90		
	6															
	7		-													
	8		2													
市 町 村 計		15														

御 坂 町	1	1.1.1	1					A	もも 120							
	2	1.2.2	5					B	もも 120							
		1.2.1														
		1.1.2														
	3	2.3.2	6					B	もも 110				広 110			
	4	2.4.2	27									D	カラマツ 100	C	100	
		2.3.4 2.4.4 2.5.2 2.5.3 2.5.4		18									D	90	C	90
	6	3.4.4	1													
7		-														
8		-														
市 町 村 計		58														

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区区分		土地利 用 の 現 況													備 考
			水 田		畑				草 地		林 地				空その他	
	面 積 Km ²	土 占 地 有 利 用 率	平 穫 均 量 収 率	普 通 畑		樹 園 地		土 占 地 有 利 用 率	草 刈 地 の 種 類 均 率	人 工 林		天 然 林		土 占 地 有 利 用 率		
				土 占 地 有 利 用 率	主 要 作 物 お び 収 穫 量	土 占 地 有 利 用 率	主 要 樹 種 お び 収 穫 率			土 占 地 有 利 用 率	主 要 樹 種 お び 収 穫 率	土 占 地 有 利 用 率	主 要 樹 種 お び 収 穫 率			
一宮町	1	1.1.1	3				A	もも 120								
	2	1.1.2	5				A	もも 120								
	3	2.2.2	3				B	もも 110								
	4	2.4.2	10							D	ヒノキ 100	C	広 100			
	5	2.4.4	8									C	90			
	6															
	7															
	8			1												
市町村計			30													

八代町	1	1.1.1	5				B	もも 120								
	2	1.2.1	1				A	もも 120								
	3	2.3.2	8							D	ヒノキ 110	C	広 110			
	4	2.3.3 2.4.2	3							D	100	C	100			
	5	2.3.4 2.4.4	5									C	90			
	6															
	7															
	8															
市町村計			25													

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考		
			水 田		畑				草 地		林 地				空その他	
	お含さ 地区よ 区びる 分式	面積 Km ²	土占 地有 利用 率	平 均 収 率	土占 地有 利用 率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 率	土占 地有 利用 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 率	土占 地有 利用 率	草 の 種 類 お よ び 平 均 収 率	土占 地有 利用 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 率	土占 地有 利用 率		主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 率	土占 地有 利用 率
境川村	1	1.1.1	1	A	水稲 100											
	2	1.2.1	2				A	桑 120								
		1.2.2														
	3	1.3.3	7					D	ぶどう 100							
		1.2.3 1.3.1 2.3.1 2.3.2														
	4	1.1.4	8								D	ヒノキ 100	C	広 100		
		2.3.3 2.4.2														
	5	2.4.4	3										C	90		
6																
7																
8																
市町村計		21														

中道町	1															
	2	1.2.2	3				A	桑 120								
	3	1.1.3	5	C	水稲 90											
		1.2.3														
	4	1.4.4	4								D	ヒノキ 100	C	広 100		
		1.1.4 1.3.4 1.4.2 2.4.2														
	5	2.4.4	8										C	90		
6																
7																
8		1														
市町村計		21														

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分 お含さ よさ れ び る 式		土 地 利 用 の 現 況														備 考
			水 田		畑				草 地		林 地				空その他		
			土 占 有 率	平 均 収 率	普 通 畑		樹 園 地		土 占 有 率	草 お 収 地 の 種 類 均 率	人 工 林		天 然 林		土 占 有 率		
面 積 Km ²		土 占 有 率	主 要 作 物 お 平 均 収 率	土 占 有 率	主 要 樹 種 お 平 均 収 率	土 占 有 率		土 占 有 率	主 要 樹 種 お 平 均 収 率	土 占 有 率	主 要 樹 種 お 平 均 収 率	土 占 有 率					
芦川村	1																
	2																
	3																
	4	2.4 2 2.4 3	20												ア カ マ ツ D 100	広 B 100	
	5	2.4 4 2.5 2 2.5 4	15													B 90	
	6	3.4 4 3.5 4	2														
	7																
	8																
市町村計		37															

豊富村	1																
	2	1.2 2	2												A 桑 120		
	3	1.2 3 1.3 2	4														
	4	2.4 2 1.1 4 1.4 2	4												カ ラ マ ン D 100	広 C 100	
	5	2.4 4	3													C 90	
	6																
	7																
	8																
市町村計		14															

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区区分		土地利用の現況											備考		
			水田		畑				草地		林地				その他	
	お含さ よさ びる 式	面積 Km ²	土占 地利 用率	平獲 均量 収率	普通畑		樹園地		土占 地利 用率	草お 地の 種平 類均 率	人工林		天然林		土占 地利 用率	
					土占 地利 用率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 獲 量 率	土占 地利 用率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 獲 量 率			土占 地利 用率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 獲 量 率	土占 地利 用率			主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 獲 量 率
上 九 一 色 村	1															
	2															
	3	2.2 2 2.1 2 2.3 2	19			D	牧 草 80						B	針 110		
	4	2.2 3 2.4 2 2.4 3 1.2 3	25			D	だいこん 100				D	アカマツ 100	B	広 100		
	5	2.4 4 2.5 2 2.5 4 2.1 4 2.2 4	40										B	針 広 90		
	6															
	7															
	8		3													
市町村計		87														

三 珠 町	1															
	2	1.2.2	1													
	3	1.2.3 1.3.2	5			D	桑 110									
	4	1.1.4 1.4.3 2.4.3	9							D	アカマツ 100	B	広 100			
	5	2.4.4 2.5.2 2.5.4	13										B	90		
	6															
	7															
	8		1													
市町村計		29														

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況												備 考	
			水 田		畑				草 地		林 地					空その他
	お含さ し性 れ式 包	面積 Km ²	土占 地利 用率	平穫 均量 収率	土占 地利 用率	主 要 作 物 の 平 均 収 穫 量 率	土占 地利 用率	主 要 樹 種の 平 均 収 穫 率	土占 地利 用率	草 地の 種 類 の 平 均 収 穫 率	土占 地利 用率	主 要 樹 種の 平 均 収 穫 率	土占 地利 用率	主 要 樹 種の 平 均 収 穫 率		土占 地利 用率
市 川 大 門 町	1															
	2															
	3	1.2.3 1.3.2 1.3.3	3				B 桑 110									
	4	2.4.2 1.1.4 2.4.3 1.2.4 2.3.3 1.4.2 1.4.3	20	D	水 稻 100						D	ア カ マ ツ 100	C	広 100		
	5	2.4.4 2.3.4	8										C	90		
	6															
	7															
	8		2													
市 町 村 計		33														

六 郷 町	1															
	2	1.2.1	1	A	水 稻 100											
	3	2.3.2	3			C	甘 藷 110				C	ア カ マ ツ 110	C	広 110		
	4		9				D	桑 90			C	100	C	100		
	5		1													
	6															
	7															
	8															
市 町 村 計		14														

3-4 土地利用可能性分類市町村別内訳

市町村名	類地区区分	土 地 利 用 の 現 況											備 考				
		水 田		畑				草 地		林 地				空その他			
		面 積 Km ²	土占 地 利 用 率	平 稈 均 収 率	土占 地 利 用 率	主 要 作 物 お お よ び 平 均 収 穫 量	土占 地 利 用 率	主 要 樹 種 お お よ び 平 均 収 穫 率	土占 地 利 用 率	草 地 の 種 類 平 均 率	土占 地 利 用 率	主 要 樹 種 お お よ び 平 均 収 穫 率		土占 地 利 用 率	主 要 樹 種 お お よ び 平 均 収 穫 率	土占 地 利 用 率	
下 部 町	1																
	2																
	3	2.3 2 1.3 2	6	D 水 稻 100	C	ご ん に や く 90	C	桑 80									広 110
	4	2.4 2	5.4									D	ス ギ 100	B	100		
	5	2.3 4 2.4 4 2.5 2 2.5 4	5.6									D	90	B	90		
	6	3.5 4	8												B	80	
	7		3														
	8		4														
市 町 村 計		131															

増 穂 町	1	1.1.1	5	C 水 稻 110			C	桑 100									
	2																
	3																
	4	2.4 2 1.4 2	2.8									D	ヒ ノ キ 100	C	広 100		
	5	2.4 4 2.5 2 2.5 4 3.4 2 3.4 3	1.8									D	90	C	90		
	6	3.4 4	1.1												C	80	
	7		3														
	8																
市 町 村 計		65															

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考		
			水 田		畑				草 地		林 地				空その他	
	類地区分け	示さる式	面積 Km ²	土占有率	平穫均量 収率	土占有率	主作物の平均収量率	土占有率	主要樹種の平均収率	土占有率	および平均収率	土占有率	主要樹種の平均収率		土占有率	その他の土占有率
飯 沢 町	1															
	2															
	3															
	4	2.4 2		2 2	D	水 稻 100			D	桑 90			D	ヒノキ 100	B	広 100
	5	2.4 4 2.5 2 2.5 4		2 0									D	90	B	90
	6	3.4 4		3											B	80
	7															
	8			2												
市 町 村 計			4 7													

中 富 町	1															
	2															
	3	2.3 2 1.3.2		6	C	水 稻 100	C	小 麦 90							C	広 110
	4	2.4 2		2 0									D	スギ 100	C	100
	5	2.3 4 2.4 4 2.5 2 2.5 4		1 3									D	90	C	90
	6															
	7															
	8			4												
市 町 村 計			4 3													

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考		
			水 田		畑				草 地		林 地				空その他	
	お含示 地区よ ささ れ性 分 包 る 式	面 積 Km ²	土 占 地 利 用 率	平 獲 均 量 収 率	土 占 地 利 用 率	主 要 作 物 上 の 平 均 収 獲 率	土 占 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 獲 率	土 占 地 利 用 率	草 の 種 類 の 平 均 収 獲 率	土 占 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 獲 率	土 占 地 利 用 率		主 要 樹 種 の 平 均 収 獲 率	土 占 地 利 用 率
早川町	1															
	2															
	3															
	4	2.4 3	4.1								D	スギ 110	A	広 110		
	5	2.4 4 2.5 2 2.5 4	1.8 1								D	100	A	100		
	6	3.5 3 3.5 4	9.4										A	針 90		
	7	2.6 2 2.6 3 2.6 4 3.6 4	5.4										A	針広 80		
	8															
市町村計		370														

身延町	1															
	2	1.2 2 1.2 1	5	C	水稲 100	D	小麦 80									
	3		7													
	4	2.4 2	5.5								C	スギ 100	B	広 100		
	5	2.4 4 2.5 2 2.5 4	5.2								C	90	B	90		
	6															
	7		3													
	8		9													
市町村計		131														

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考		
			水 田		畑				草 地		林 地				空その他	
	面 積 km ²	土 地 利 用 率	平 均 収 率	普 通 畑		樹 園 地		土 地 利 用 率	草 地 の 種 類	土 地 利 用 率	人 工 林		天 然 林		土 地 利 用 率	
土 地 利 用 率				主 要 作 物 お お 平 均 収 穫 量 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 お お 平 均 収 穫 率	土 地 利 用 率				主 要 樹 種 お お 平 均 収 穫 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 お お 平 均 収 穫 率			
南 部 町	1															
	2	1.2.1	2	A	水 稻 110											
	3	1.3.2	8		D	小 麦 80										
	4	2.4.2	31							B	スギ 100	C	広 100			
	5	2.4.4 2.5.2 2.5.4	61							B	90	C	90			
	6															
	7	2.6.2 2.6.4	6										C	70		
	8		4													
市 町 村 計		112														

富 沢 町	1															
	2	1.2.1	2	B	水 稻 110											
	3	1.3.2	8													
	4	2.4.2 2.4.3	40		C	しようが 100					B	ヒノキ 100	C	広 100		
	5	2.4.4 2.5.2 2.5.4	35								B	90	C	90		
	6															
	7	2.6.2 2.6.4	2											C	70	
	8		1													
市 町 村 計		88														

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考		
			水 田		畑				草 地		林 地				空その他	
	面 積 Km ²	土占 地利 用率	平穫 均量 収率	土占 地利 用率	普 通 畑		樹 園 地		土占 地利 用率	草お 地の 収 獲 率	人 工 林		天 然 林		土占 地利 用率	
主 要 作 物 お よ び 平 均 収 獲 率					主 要 作 物 お よ び 平 均 収 獲 率	土占 地利 用率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 獲 率	土占 地利 用率			主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 獲 率	土占 地利 用率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 獲 率			
竜 王 町	1	1.1.1	6	B	水 稻 110											
	2															
	3	1.1.3	2				B	桑 110								
	4	1.1.4	5	C	水 稻 100											
	5															
	6															
	7															
	8															
市 町 村 計		13														

敷 島 町	1	1.1.1	2	A	水 稻 120											
	2															
	3	1.3.2 1.2.3	6	C	水 稻 100		B	桑 110								
	4	2.4.4	14								D	カラマツ 100	C	広 100		
	5	2.4.4	18								D	90	C	90		
	6															
	7															
	8															
市 町 村 計		40														

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区区分		土 地 利 用 の 現 況													備 考
			水 田		畑				草 地		林 地			空その他		
	お含さ よさ れ び る 式	面 積 Km ²	土 占 有 率	平 獲 均 収 率	土 占 有 率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 獲 量 率	土 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 獲 率	土 占 有 率	草 地 の 種 類 お よ び 平 均 収 獲 率	土 占 有 率	人 工 林 お よ び 平 均 収 獲 率	土 占 有 率	天 然 林 お よ び 平 均 収 獲 率	土 占 有 率	
玉 穂 村	1	1.1.1	1				A	桑	110							
	2															
	3															
	4	1.1.4	6	B	水 稲 100											
	5															
	6															
	7															
	8		1													
市 町 村 計		8														

昭 和 町	1															
	2															
	3															
	4	1.1.4	9	B	水 稲 100	C	な す 120									
	5															
	6															
	7															
	8															
市 町 村 計		9														

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区区分		土地利用の現況												備考	
			水田		畑				草地		林地					その他
	面 積 Km ²	土 地 利 用 率	平 獲 均 量 収 率	普通畑		樹園地		土 地 利 用 率	草 地 の 種 類 均 率	人工林		天然林		土 地 利 用 率		
				土 地 利 用 率	主 要 作 物 の 平 均 収 獲 量 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 獲 率			土 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 獲 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 獲 率			
田 富 町	1	1.1.1	1													
	2															
	3															
	4	1.1.4	7	C	水 稻 100	C	き ゆ う り 120									
	5															
	6															
	7															
	8			2												
市町村計		10														

八 田 村	1															
	2															
	3	1.1.3	2				C	も も 120								
	4	1.1.4	5	C	水 稻 100		D	桑 110								
	5															
	6															
	7															
	8			1												
市町村計		8														

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考		
			水 田		畑				草 地		林 地				空その他	
	示 性 式	面 積 Km ²	土 占 利 用 率	平 均 収 率	土 占 利 用 率	主 要 作 物 お お 平 均 収 率	土 占 利 用 率	主 要 樹 種 お お 平 均 収 率	土 占 利 用 率	草 お お 平 均 収 率	土 占 利 用 率	主 要 樹 種 お お 平 均 収 率	土 占 利 用 率		主 要 樹 種 お お 平 均 収 率	土 占 利 用 率
白 根 町	1	1.1.1	5				A	もも 120								
	2		-													
	3	1.2.3	1				A	桑 110								
	4	2.4.2 2.4.3 1.1.4	2.2	D	水稲 100						D	ヒノキ 100	C	広 100		
	5	2.4.4 2.4.3	7								D	90	C	90		
	6	3.4.4	2								D	80	C	80		
	7		-													
	8		2													
芦 安 村	1		-													
	2		-													
	3		-													
	4		-													
	5	2.5.2 2.5.4 3.4.2 3.4.3	3.8								D	カラマツ 100	B	広 100		
	6	3.4.4 3.5.3 3.5.4	9.5								D	90	B	90		
	7	2.6.2 2.6.4 2.6.3	1.5										B	80		
	8		-													
市町村計		14.8														

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区区分		土地利用の現況											備考		
			水田		畑				草地		林地				その他	
	面積 Km ²	土占有 率	平獲 均量 収率	土占有 率	主 要 作 物 お お 平 均 収 獲 量	土占有 率	主 要 樹 種 お お 平 均 収 獲 率	土占有 率	草 刈 地 の 種 類 お お 平 均 収 獲 率	土占有 率	主 要 樹 種 お お 平 均 収 獲 率	土占有 率	主 要 樹 種 お お 平 均 収 獲 率		土占有 率	
若草町	1	1.1.1	3				A	桑 120								
	2															
	3	1.1.3	1													
	4	1.1.1	5	B	水稲 110		C	ぶどう 100								
	5															
	6															
	7															
	8			2												
市町村計		11														

形町	1	1.1.1	4				A	もも 120								
	2															
	3	1.2.3	4				A	桑 110								
	4	2.4.2 2.4.3 1.1.4	22				D	桑 100		C	カラマツ 100	C	広 100			
	5	2.4.4 2.5.2 2.5.4	11							C	90	C	90			
	6	3.5.3 3.5.4	2										C	80		
	7															
	8															
市町村計		43														

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区区分		土 地 利 用 の 現 況													備 考					
			水 田			畑				草 地		林 地					空その他				
	お含さ れ 性 式	面積 Km ²	土 占 有 率	平 均 収 率	土 占 有 率	主 要 作 物 の 平 均 収 率	土 占 有 率	主 要 樹 種	平 均 収 率	土 占 有 率	草 の 種 類	平 均 収 率	土 占 有 率	主 要 樹 種	平 均 収 率		土 占 有 率	主 要 樹 種	平 均 収 率	土 占 有 率	
甲 西 町	1	1.1.1	5	A	水 稻 100																
	2																				
	3	1.1.3	2				A	桑 100													
	4	2.4.2 1.1.4	6		D	はくさい 120							D	アカマツ 100		D	広 100				
	5	2.4.4	2										D	90		D	90				
	6																				
	7																				
	8			1																	
市町村計			16																		

双 葉 町	1	1.1.1	3	A	水 稻 110																
	2																				
	3	2.3.2 1.2.3 1.1.3	13				D	桑 120					D	アカマツ 110		D	針 110				
	4		1										D	100		D	100				
	5	2.3.4	2													D	90				
	6																				
	7																				
	8																				
市町村計			19																		

3-4 土地利用可能性分級市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考			
			水 田		畑				草 地		林 地				空その他		
	示 含 さ れ る 式	面 積 Km ²	土 占 地 利 用 率	平 均 収 率	土 占 地 利 用 率	主 要 作 物 の 平 均 収 量	土 占 地 利 用 率	主 要 樹 種	平 均 収 率	土 占 地 利 用 率	主 要 樹 種	平 均 収 率	土 占 地 利 用 率		主 要 樹 種	平 均 収 率	土 占 地 利 用 率
明 野 村	1																
	2																
	3	2.3.2 2.3.3 2.2.3	6	B	水稻 110	D	だいこん 120						D	カラマツ 100	C	広 100	
	4	2.3.3	18					D	桑 90						C	90	
	5	2.3.4	5												C	80	
	6																
	7																
	8																
市町村計		29															

須 玉 町	1																
	2																
	3	2.3.2 2.2.2	31	D	水稻 110			C	桑 90				D	カラマツ 110	B	広 110	
	4	2.4.2 2.4.3	56										D	100	B	100	
	5	2.4.4	66												B	90	
	6		21														
	7																
	8																
市町村計		174															

3-4 土地利用可能性分類別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考		
			水 田		畑				草 地		林 地				空その他	
	お含さ よさ びる 式	面 積 km ²	土 地 利 用 率	平 均 収 率	土 地 利 用 率	主 要 作 物 お お 均 収 獲 量 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 お お 均 収 獲 量 率	土 地 利 用 率	草 の 種 お お 均 収 獲 量 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 お お 均 収 獲 量 率	土 地 利 用 率		主 要 樹 種 お お 均 収 獲 量 率	土 地 利 用 率
高 根 町	1															
	2															
	3	2.3 2 2.2 2	48	D	水 稻 110	C	と ま と 110	C	桑 90			D	カラマツ 90	D	広 90	
	4	2.3 3	10	D	水 稻 100			C	桑 80					D	80	
	5	2.3 4	7											D	70	
	6															
	7															
	8															
市 町 村 計		65														

長 坂 町	1															
	2															
	3	2.2 2 2.1 2	23	C	水 稻 110	C	とうもろこし 110	D	桑 90							
	4	2.2 3 2.2 3	17	C	水 稻 100						D	カラマツ 80	C	広 80		
	5		1								D	70	C	70		
	6		2													
	7															
	8															
市 町 村 計		43														

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考
			水 田		畑			草 地		林 地		空その他		
	面 積 Km ²	土 地 利 用 率	平 均 収 率	土 地 利 用 率	主 要 作 物 お お 平均 収 穫 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 お お 平均 収 穫 率	土 地 利 用 率	草 の 種 類 お お 平均 収 穫 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 お お 平均 収 穫 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 お お 平均 収 穫 率	
1														
2														
3	2.3.2 2.2.2.	9	C	水 稻 90	D	と ま と 100				D	カラマツ 90	C	広 90	
4	2.2.3 2.3.3	29			D	牧 草 100						C	80	
5	2.3.4 3.3.3 3.4.3	14										C	70	
6	3.5.3	11										C	60	
7														
8														
市 町 村 計		63												

1														
2														
3	2.2.2	7	B	水 稻 90	D	桑 80								
4	2.2.3	24			D	牧 草 100				D	カラマツ 80	C	広 80	
5	2.2.4 3.4.3	1										C	70	
6	3.4.4	2										C	60	
7														
8														
市 町 村 計		34												

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考			
			水 田		畑				草 地		林 地				空その他		
	面 積 Km ²	土 占 地 利 用 率	平 種 均 量 収 率	土 占 地 利 用 率	普 通 畑		樹 園 地		土 占 地 利 用 率	草 地 の 種 類	土 占 地 利 用 率	人 工 林			天 然 林		土 占 地 利 用 率
主 要 作 物					平 均 収 量	主 要 樹 種	平 均 収 率	主 要 樹 種				平 均 収 率	主 要 樹 種	平 均 収 率	主 要 樹 種	平 均 収 率	
白 州 町	1																
	2																
	3	2 2 2 2 3 2	10	C 水 稻 90	C こん じ や く 100	C ぶ とう 90							A 広 110				
	4	2.23 2.43 2.33 2.52 2.42 2.54	41								D カラマツ 100	A 100					
	5	2.24 2.34 3.42 3.43	22								D 90	B 90					
	6	3.44 3.53	54									B 針 80					
	7		8														
	8																
市 町 村 計		135															

武 川 村	1																
	2																
	3	2.32	12	C 水 稻 100	C と ま と 120	C 桑 90						B 広 110					
	4	2.33 2.42	13								D カラマツ 100	B 100					
	5	2.44 3.43	16									B 90					
	6	3.44 3.52 3.54	18									B 針 80					
	7	3.62 3.65	1									B 70					
	8																
市 町 村 計		60															

3-4 土地利用可能性分類市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考		
			水 田		畑				草 地		林 地				空その他	
	お含さ よさ びる 式	面積 Km ²	土 占 有 率	平 均 収 率	土 占 有 率	主 要 作 物 お よ び 均 収 率	土 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 均 収 率	土 占 有 率	草 の 種 類 お よ び 均 収 率	土 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 均 収 率	土 占 有 率		主 要 樹 種 お よ び 均 収 率	土 占 有 率
秋 山 村	1															
	2															
	3															
	4	2.4.3	27				D	桑 70				D	スギ 100	B	広 100	
	5	2.4.4 2.5.2 2.5.4	18									D	90	B	90	
	6															
	7															
	8															
市町村計		45														

道 志 村	1															
	2															
	3	2.3.2	6	D	水 稻 70											
	4	2.4.2 2.4.3	47									C	スギ 100	C	広 100	
	5	2.4.4 2.5.2 2.5.4 2.3.4	26									C	90	C	90	
	6															
	7															
	8															
市町村計		79														

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考		
			水 田		畑				草 地		林 地				空その他	
	お含さ 地区よ 分びれ 包る式	面 積 Km ²	土 地 利 用 率	平 均 収 取 率	土 地 利 用 率	主 要 作 物 よ び 平 均 収 取 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 よ び 平 均 収 取 率	土 地 利 用 率	草 地 の 種 類 よ び 平 均 収 取 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 よ び 平 均 収 取 率	土 地 利 用 率		主 要 樹 種 よ び 平 均 収 取 率	土 地 利 用 率
西 桂 村	1															
	2															
	3															
	4	2.4 2 2.4 3 2.4 1	11	D	水 稻 100						B	ア カ マ ン 100	C	広 100		
	5	2.4 4 2.5 2 2.5 4	4								B	90	C	90		
	6	3.4 3	1													
	7															
	8															
市 町 村 計		16														

忍 野 村	1															
	2															
	3	2.1 2 2.3 2	8	C	水 稻 80	C	と う も ろ ご し 100				C	カ ラ マ ン 90		針 90		
	4	2.1 3 2.3 3 2.4 2 2.4 3	9								C	80		80		
	5	2.1 4 2.3 4 2.4 4	8								C	70		20		
	6															
	7															
	8															
市 町 村 計		25														

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考	
			水 田		畑				草 地		林 地				空その他
	お含さされる地区区分	面積 (km ²)	土占有率	平均収率	土占有率	主要作物	土占有率	平均収率	土占有率	平均収率	土占有率	平均収率	土占有率		平均収率
山 中 湖 村	1														
	2														
	2.3 2 2.2 2	7	D	水稲 70	とうもろこし 100						D	カラマツ 90	D	広 90	
	2.2 3 2.3 3 2.1 3	9									D	80	D	80	
	2.3 4 2.2 4 2.1 4	30									D	70	D	70	
	6														
	7														
	8		6												
市 町 村 計		52													

河 口 湖 町	1														
	2														
	2.1 2 2.2 2	11	D	水稲 80	C かんらん 100										
	2.4 2 2.4 3	24									C	アカマツ 100	D	針 100	
	2.1 4 2.2 4 2.4 4 2.5 2	20									C	90	D	90	
	3.4 3 3.4 4	3									C	80	D	80	
	7														
	8		5												
市 町 村 計		63													

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況												備 考	
			水 田		畑				草 地		林 地					空その他
	面 積 km ²	土 地 利 用 率	平 均 収 率	土 地 利 用 率	主 要 作 物 の 平 均 収 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 木 の 平 均 収 率	土 地 利 用 率	草 地 の 種 類 平 均 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 木 の 平 均 収 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 木 の 平 均 収 率	土 地 利 用 率		
勝 山 村	1															
	2															
	3	2.2.2	3		C	とうもろごし 100 かんらん 100						C	アカマツ 90	D	針 90	
	4															
	5	2.2.4	1													
	6															
	7															
	8															
市町村計		4														

足 和 田 村	1															
	2															
	3	2.2.2	1		A	とまと 90										
	4	2.4.2 2.4.3	1.1									D	アカマツ 80	C	広 80	
	5	2.4.4 2.2.4 2.5.2 2.3.4 2.5.3 2.5.4	1.2											C	70	
	6	2.5.2	1											C	60	
	7															
	8		3													
市町村計		2.8														

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考		
			水 田		畑				草 地		林 地				空その他	
	面 積 Km ²	土 地 利 用 率	平 均 収 率	普 通 畑		樹 園 地		土 地 利 用 率	草 地 の 平 均 収 率	人 工 林		天 然 林			土 地 利 用 率	
				土 地 利 用 率	主 要 作 物 の 平 均 収 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 収 率			土 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率			
鳴 沢 村	1															
	2															
	3	2.2 2 2.3 2 2.1 2	30		C	とうもろごし 100 だいごん 100				C	カラマツ 90	C	針 90			
	4	2.1 3 2.3 3 2.4 2 2.4 3	4							C	80	C	80			
	5	3.3 2 2.3 4 3.3 3 2.5 2 3.4 3 2.5 3 2.1 4 2.2 4	48									C	70			
	6	3.3 4	1									C	60			
	7	3.4 6 3.5 6	7													
	8															
市 町 村 計		90														

上 野 原 町	1															
	2	1.2 2	4	C	水 稻 80	C	小 麦 90									
	3	2.3 2	17			D	小 麦 80	D	桑 80		D	スギ 130	B	広 130		
	4	2.3 3 2.4 2 2.4 3	54								D	120	B	120		
	5	2.4 4 2.5 2 2.5 3 2.5 4	49								D	110	B	110		
	6															
	7															
	8															
市 町 村 計		124														

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考		
			水 田		畑				草 地		林 地				空その他	
	お含さ よさ 性 区 分 包 る 式	面 積 Km ²	土 占 地 利 用 率	平 均 収 率	普 通 畑		樹 園 地		土 占 地 利 用 率	草 地 の 種 類 均 率	人 工 林		天 然 林		土 占 地 利 用 率	
土 占 地 利 用 率					主 要 作 物 の 平 均 収 量	土 占 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 種 び 率	土 占 地 利 用 率			主 要 樹 種 の 種 び 率	土 占 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 種 び 率	土 占 地 利 用 率		主 要 樹 種 の 種 び 率
小 菅 村	1	1.1.1														
	2															
	3															
	4	2.4.2.	20			D	ごんねやく 80				C	スギ 120	B	広 120		
	5	2.4.4 2.5.2 2.5.3 2.5.4	20								C	110	B	110		
	6	2.4.5	12													
	7															
	8															
市町村計		124														

丹 後 山 村	1															
	2															
	3															
	4	2.4.2 2.4.3	16								D	スギ 120	B	広 120		
	5	2.4.4 2.5.2	73								D	110	B	110		
	6	3.4.4 3.4.5 3.5.3 3.5.4	10										B	100		
	7		2													
	8															
市町村計		101														

